

# 男女共同参画に関する市民意識調査 報告書

平成 26 年 12 月

日 田 市

# I. 調査概要.....1

1. 調査目的
2. 調査設計
3. 標本の抽出方法と集計の統計的有意性について
4. 回収結果
5. 報告書の見方

# II. 調査結果

## 1. 回答者の属性

問 1	性別	3
問 2	年齢	3
問 3	職業	4
問 4	結婚の状況	5
問 5	共働きの状況	5

## 2. 男女の意識について

問 6	性別役割分担に対する意識	6
問 7	男女平等の状況	8

## 3. 家庭生活について

問 8	家庭での役割分担	10
問 9	男女が共に家事・地域活動等に参加するために必要なこと	13
問 10	就労の状況	14
問 11	就労の継続状況	15
問 12	職場における女性への差別的処遇の有無	17
問 13	職場における女性への差別的処遇の状況	18
問 14	就労していない理由	19
問 15	仕事と家庭生活を両立させるために必要なこと	21
問 16	女性が仕事を続けるために必要な支援	22

## 4. 仕事について

問 17	自営業者における経営方針の決定者	23
問 18	男性の育児・介護休暇の取得について	24
問 19	男性が育児・介護休暇を取得しづらい理由	26

<b>5. 地域活動について</b>	
問 20 地域等の集まりへの女性の参加状況	27
問 21 女性が地域等の集まりへ参加しにくい具体的状況	29
<b>6. 男性と女性の人権について</b>	
問 22 パートナーから受けるDV(ドメスティック・バイオレンス)の状況	30
問 23 DV(ドメスティック・バイオレンス)の相談状況	32
<b>7. 政策決定の場への女性の参画について</b>	
問 24 審議会等における女性登用率について	33
問 25 審議会等に女性委員が少ない理由	34
<b>8. 男女共同参画への要望について</b>	
問 26 男女共同参画社会の実現に向けて必要な取組み	35
問 27 男女共同参画社会の実現に対する意見	36
<b>III. アンケート調査票</b>	45

# I. 調査概要

## 1. 調査目的

本調査は、第2期日田市男女共同参画基本計画の後期行動計画となる第二次行動計画の策定にあたり、市民の家庭生活・職場・社会活動等の様々な場面における男女の意識や実態を把握し、策定の基礎資料とするとともに、市民の男女共同参画に関する意識啓発を行うことを目的として調査を行った。

調査の大項目は下記のとおりである。

1. 回答者の属性
2. 男女の意識について
3. 家庭生活について
4. 仕事について
5. 地域活動について
6. 男性と女性の人権について
7. 政策決定の場への女性の参画について
8. 男女共同参画への要望について

## 2. 調査設計

- ① 調査対象 …日市内に住民票を有する20歳以上の男女  
(平成26年4月1日時点:57,384人)
- ② 調査方法 …郵送による配布及び回収
- ③ 調査期間 …平成26年5月7日～7月31日

## 3. 標本の抽出方法と集計の統計的有意性について

本アンケートは、対象となる人口を構成する性別及び年齢層を考慮し、按分して配布した。

配布数については、統計学的にはある一定の数を超えると票数を大幅に増やしても、誤差は変わらなくなるとされている。この「一定の数」は、目標誤差が3～5%以内であればよいとされていることから、本アンケートでは目標誤差を許容範囲最大の5%と設定した。

これを次の「サンプル数と誤差の関係式」で計算すると、住民の意向が把握できる有益な票数の下限は約384票と算出できた。前回調査を鑑みて回収率を45%と想定した場合、配布数は850票余りでよい試算となるが、各設問の回答結果を男女別でも考察する必要があることや、回収率が想定を下回る可能性も考慮し、統計学的に有益な票数を確保するため1,700通を配布した。

## サンプル数と誤差の関係式

$$\begin{aligned} \text{必要なサンプル数} &= \frac{\text{有意水準}^2 \times P(1-P)}{\text{目標誤差}(\%)^2} \\ &= \frac{(1.96)^2 \times 0.5(1-0.5)}{(0.05)^2} \quad \doteq 384 \end{aligned}$$

\*有意水準：統計学の「正規分布表」から有意水準 5%の定数 (=1.96)

## 4. 回収結果

配布数	…1,700 部
有効回収数	…814 部
有効回収率	…47.9% ※前回(平成 21 年度)調査 45.6%

## 5. 報告書の見方

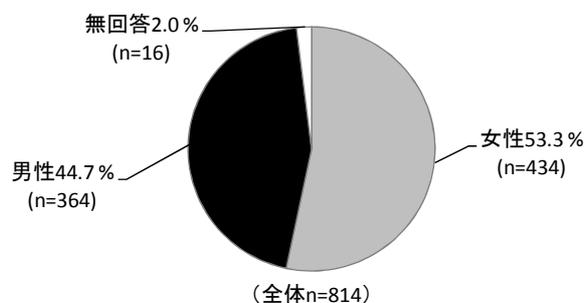
- ① 文中及び各図にある用語は次のとおり
  - ・今回調査/全体 …今回の調査における当該設問の回答者の計
  - ・前回調査 …日田市において平成 21 年度に実施した同調査
  - ・県調査 …大分県が平成 21 年度に実施した  
「男女共同参画社会づくりのための意識調査」
  - ・全国調査① …内閣府が平成 24 年 10 月に実施した  
「男女共同参画社会に関する世論調査」
  - ・全国調査② …内閣府が平成 26 年 8 月に実施した  
「女性の活躍推進に関する世論調査」
  - ・若年層 …20～39 歳
  - ・中年層 …40～59 歳
  - ・高齢層 …60 歳以上
- ② 回答は、回答者数を基数とした百分率(%)で表し、小数第 2 位を四捨五入しているため、その合計が 100%にならない場合がある
- ③ 性別無回答者が生じたため、図によっては男性と女性の各有効回収数の合計が、その設問の総回答数と合致しないものがある
- ④ 内閣府が平成 26 年に実施した世論調査は、平成 24 年調査とその項目が一部変更されている。このため、当報告書において比較データとして引用している世論調査のデータが設問によって異なっている

## II. 調査結果

### 1. 回答者の属性

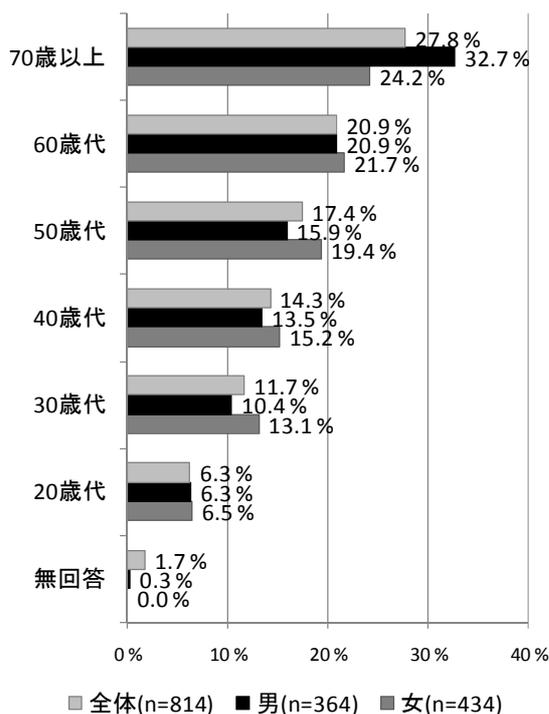
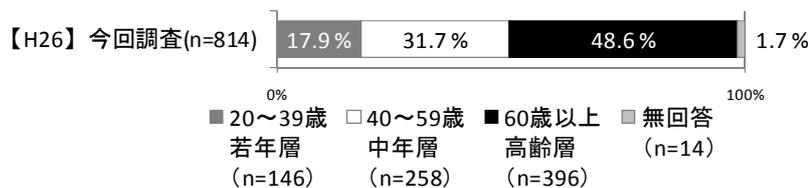
#### 問 1 性別

- 回答割合は、女性が約 53%、男性が約 45%であった



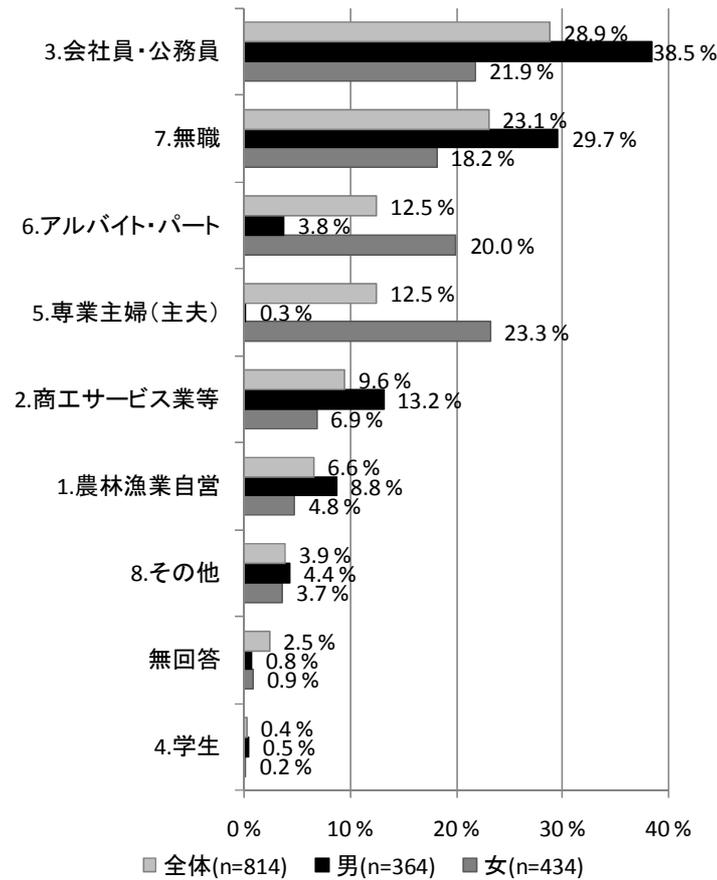
#### 問 2 年齢

- 回答者の割合は、若年層が約 2 割、中年層が約 3 割、高齢層が約 5 割であった
- 男女ともに、年代が高いほど回答者数が多かった



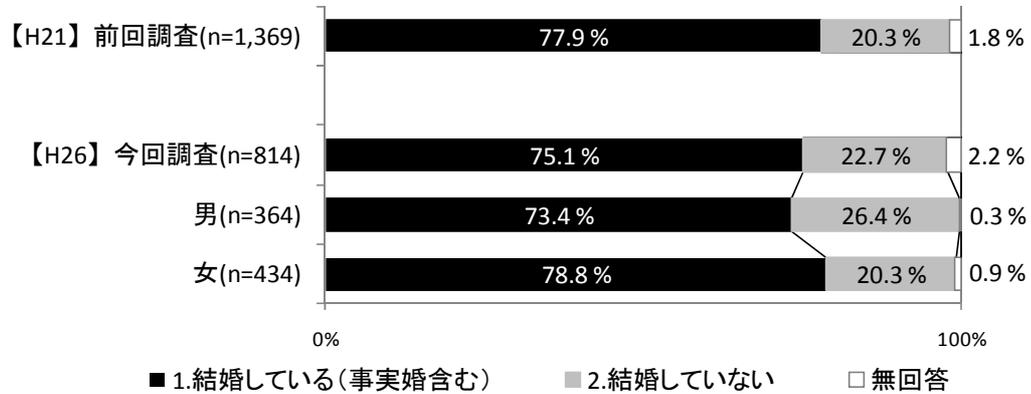
### 問3 職業

- 全体的に、回答割合が最も高かったのは「3.会社員・公務員」の28.9%であった。これは特に男性の回答に顕著で、38.5%であった
- 女性の回答では、最も割合が高かったのが「5.専業主婦」の23.3%で、次いで「3.会社員・公務員」が21.9%と2番目に高かった
- 回答者の年齢層が高かったためか、全体的に「7.無職」の回答割合が23.1%と高い



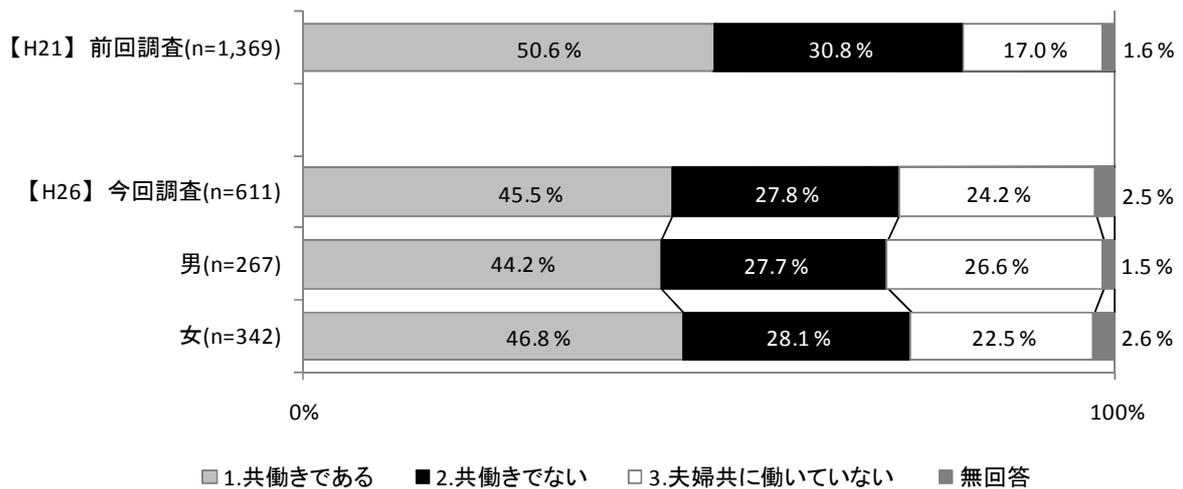
#### 問 4 結婚の状況

- 前回調査と同様に、全体的に「1.結婚している(事実婚を含む)」の回答割合が最も高く、全体の4分の3程度を占めた。しかし、今回は前回に比べて2.8ポイント低くなった
- また、「2.結婚していない」という回答割合は2.4ポイント高くなった



#### 問 5 共働きの状況

- 全体的に、「1.共働きである」という回答割合が45.5%と高かった
- 前回調査に比べると、「1.共働きである」が5.1ポイント、並びに「2.共働きでない」が3.0ポイントと、それぞれ回答割合が低くなった。なお、「3.夫婦共に働いていない」の回答割合は7.2ポイント高くなっている

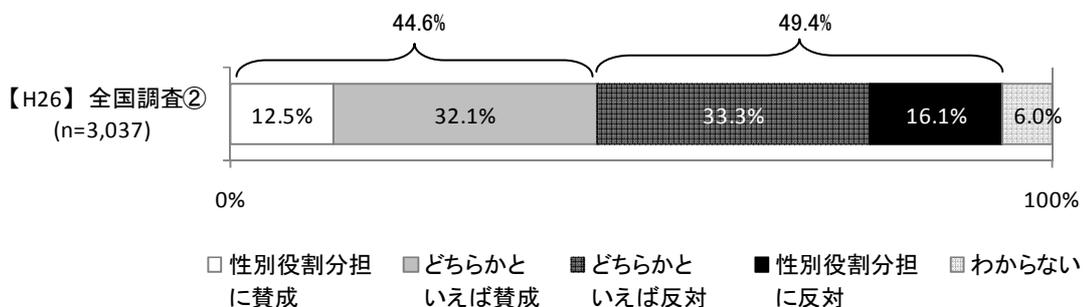
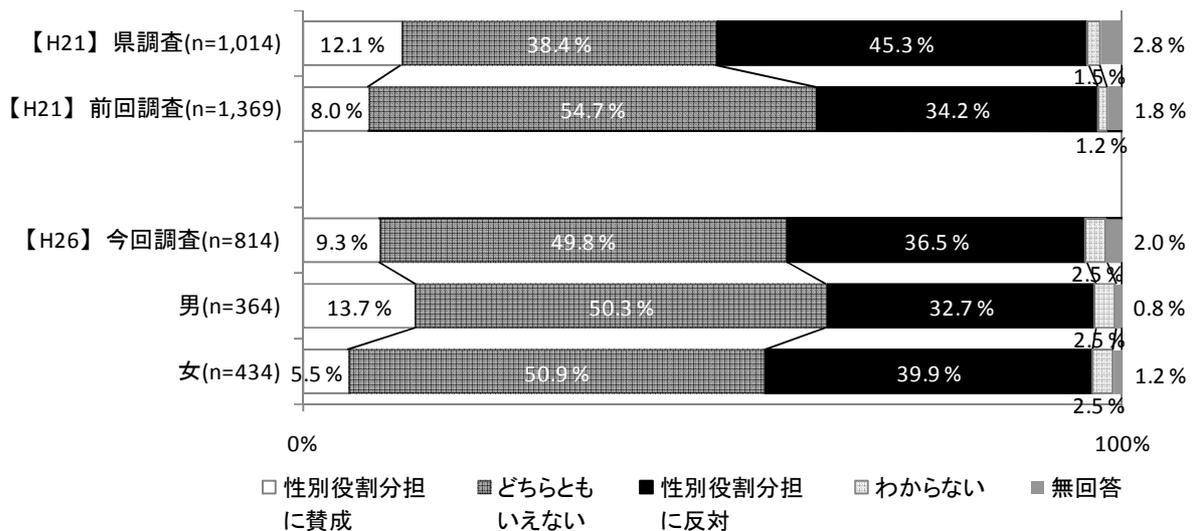


## 2.男女の意識について

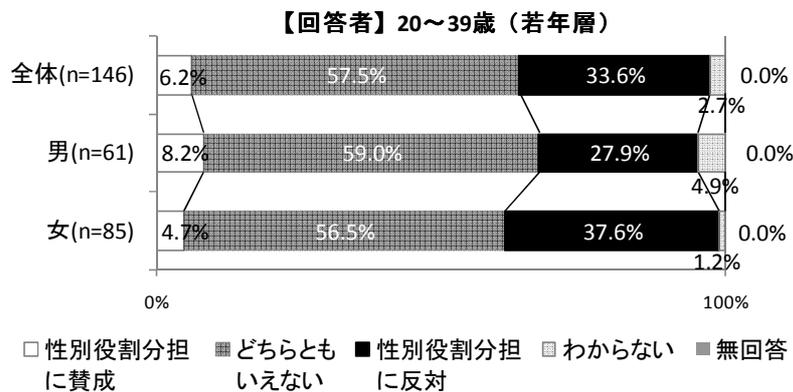
### 問 6 性別役割分担に対する意識

「男は仕事、女は家庭」と性別によって役割を固定する考え方についてどう思いますか。  
(単一回答)

- 全体的には、前回調査と同様に「どちらともいえない」という回答割合が最も高く、約 5 割を占めた。なお、その割合は前回調査より 4.9 ポイント低くなっている
  - 前回調査と比べて、性別役割分担に「賛成」が 1.3 ポイント、「反対」が 2.3 ポイントといずれも高くなっている
  - 男性より女性のほうが、「役割分担に反対」する回答割合が高い
- 
- 全国調査とは選択項目が異なるため単純比較はできないものの、性別役割分担に「賛成」する回答割合は日田市のほうが 3.2 ポイント低かった。また、「反対」する回答割合は日田市のほうが 20.4 ポイント高い
  - なお、全国調査において「どちらかといえば賛成」と「どちらかといえば反対」の選択肢を広義に捉えると、性別役割分担に「賛成」と「反対」の割合はそれぞれ大幅に高くなる

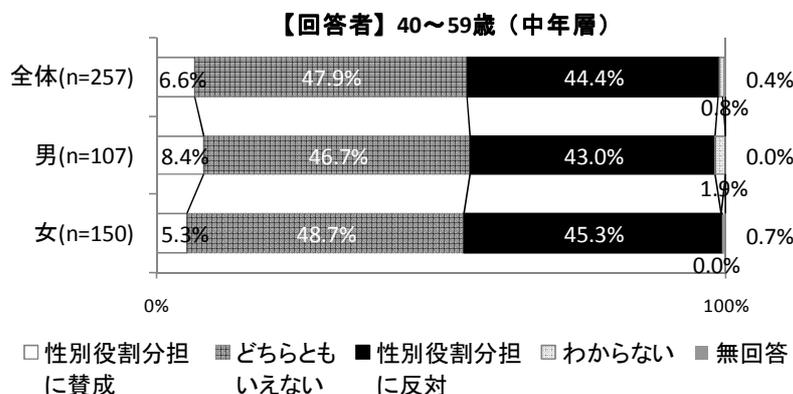


《問 6: 年代別の回答状況》 ※性別無回答者・年齢無回答者除く

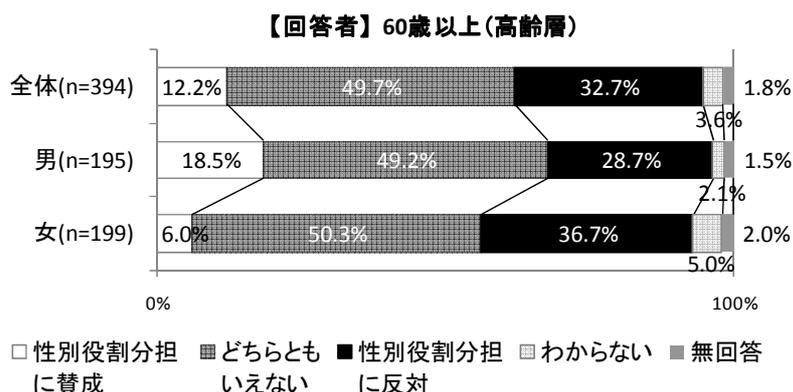


・若年層では、「どちらともいえない」と回答された割合が 57.5% と、どの年代よりも高かった

・「性別役割分担に反対」という回答割合が最も低かったのは、若年層の男性で、27.9%であった



・中年層では、「性別役割分担に反対」の回答割合が男女ともに 40% 台と、どの年代よりも高かった



・「性別役割分担に反対」の回答割合は、高齢層では 32.7%、若年層では 33.6% と、大差がなかった

・「性別役割分担に賛成」という回答割合が最も高かったのは、高齢層の男性であった

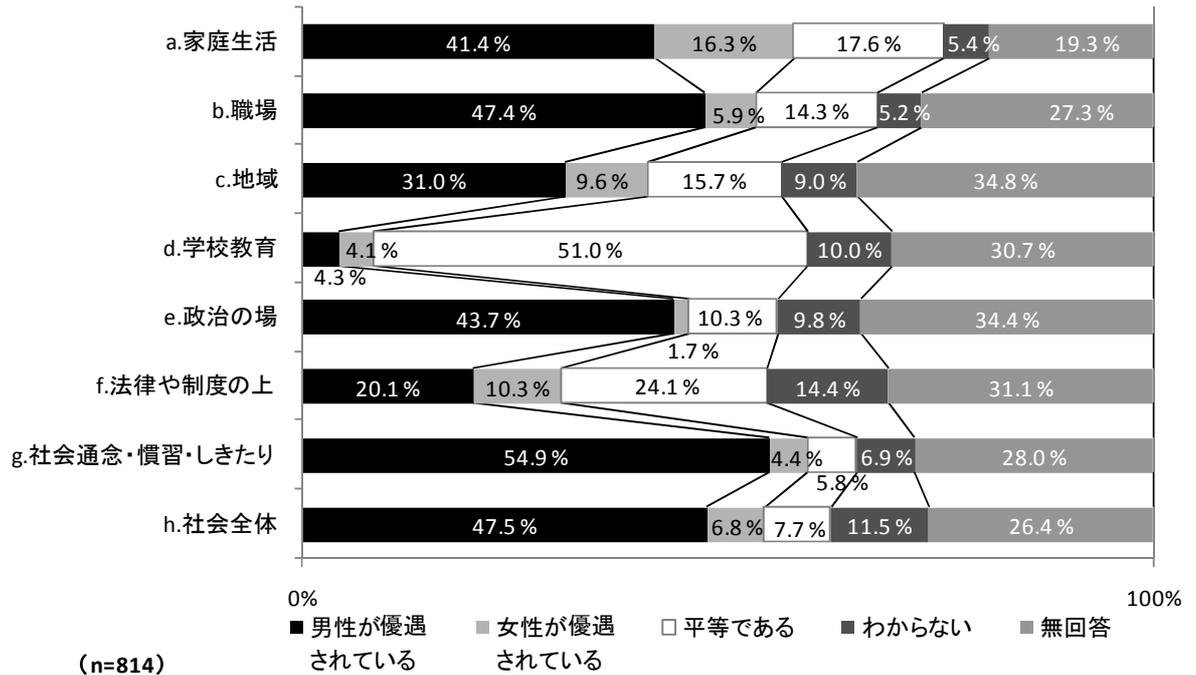
- 性別役割分担に「反対」する男女の回答割合は、若年層と高齢層では差がみられたが、中年層ではほぼなかった

## 問7 男女平等の状況

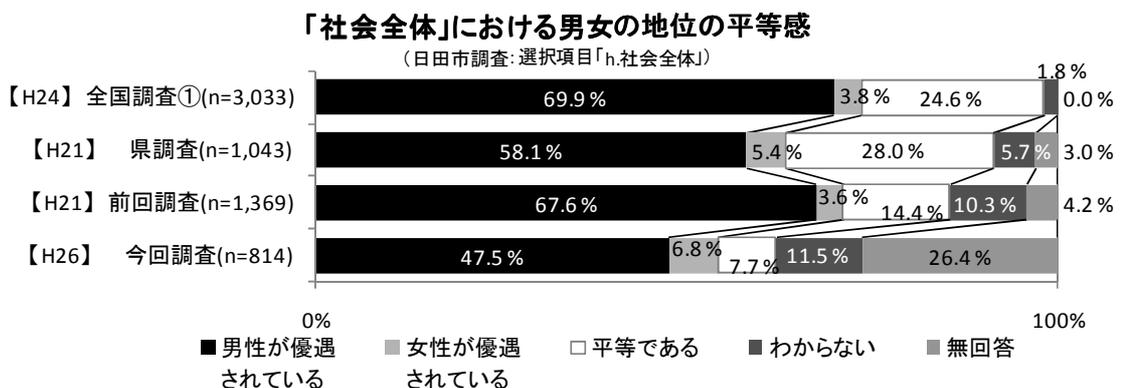
あなたは、次の分野において男女平等がどの程度、実現されていると思いますか。

(単一回答)

- 全項目で「女性が優遇されている」より「男性が優遇されている」という回答割合が高かった
- 平等意識が最も高かったのは「d.学校教育」であった
- 最も「男性が優遇されている」と意識されているのは、「g.社会通念・慣習・しきたり」である

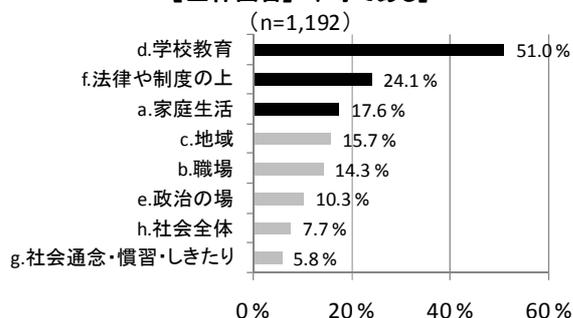


- 「男性が優遇されている」という回答割合は、前回より約 20 ポイント低くなっている。また、これは全国や大分県に比べても低い
- 「平等である」という回答割合は、前回の半分程度であった。大分県と比べると、4分の1程度の割合であった
- 今回の調査では、回答しづらい設問であったため、前回調査に比べて「無回答」の回答割合が高くなった



《問 7: 選択項目別の回答状況》

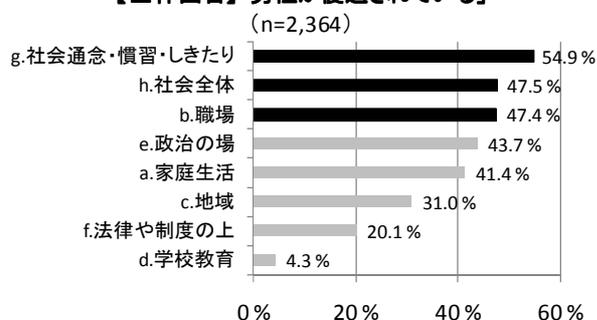
【全体回答】「平等である」



・「平等である」と回答されたなかで、その割合が高かった項目は次の順であった

- 1.「d.学校教育」 51.0%
- 2.「f.法律や制度の上」 24.1%
- 3.「a.家庭生活」 17.6%

【全体回答】「男性が優遇されている」

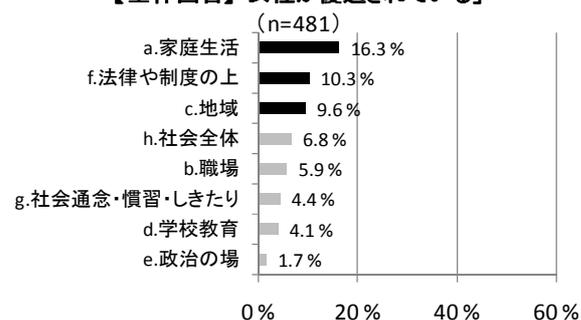


・「男性が優遇されている」と回答されたなかで、その割合が高かった項目は次の順であった

- 1.「g.社会通念・慣習・しきたり」 54.9%
- 2.「h.社会全体」 47.5%
- 3.「b.職場」 47.4%

・「男性が優遇されている」の回答数(2,364)は、「女性が優遇されている」の回答数(481)の 5 倍近かった

【全体回答】「女性が優遇されている」



・「女性が優遇されている」と回答されたなかで、その割合が高かった項目は次の順であった

- 1.「a.家庭生活」 16.3%
- 2.「f.法律や制度の上」 10.3%
- 3.「c.地域」 9.6%

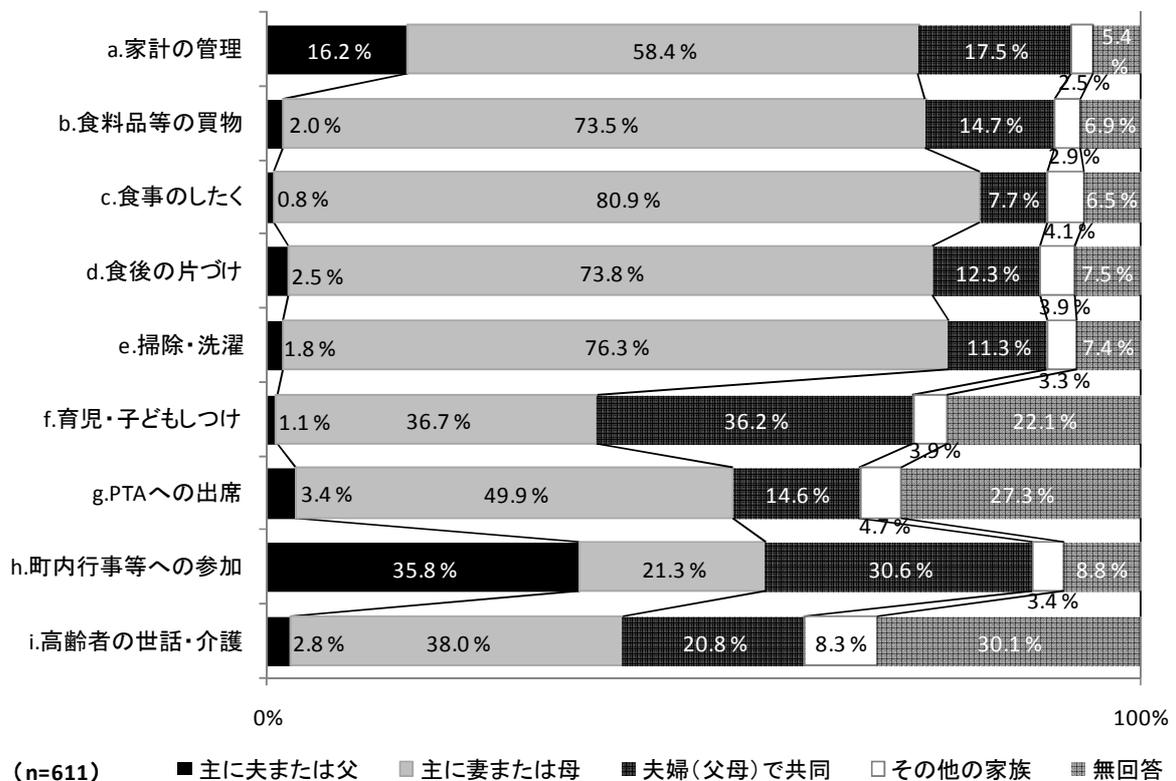
- ・ 「平等である」として高い回答割合となった「d.学校教育」については、「男性が優遇されている」と「女性が優遇されている」では、ともに回答割合が低かった

### 3.家庭生活について

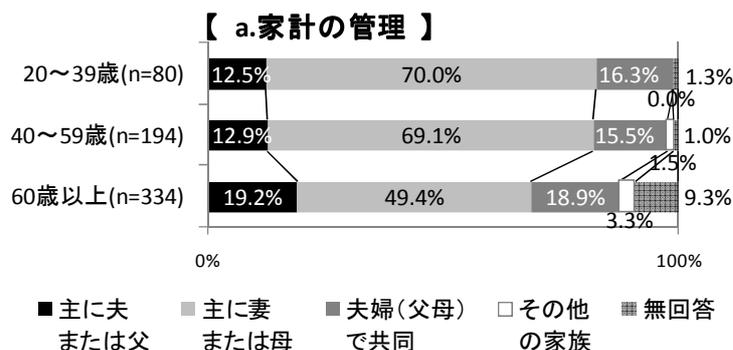
#### 問 8 家庭での役割分担

結婚している方(事実婚を含む)におたずねします。あなたの家庭では、次の役割を主に誰がしていますか。(単一回答)

- 「h.町内行事等への参加」以外のすべての項目で、女性が役割を担っているという回答割合が高かった
- なかでも、女性は「c.食事のしたく」を担っているという回答割合は約8割を超えている
- 男性の役割としては、「h.町内行事等への参加」という回答割合が35.8%と最も高かった
- 男女で共同して担っている役割は「f.育児・子どものしつけ」の回答割合が36.2%で最も高かった

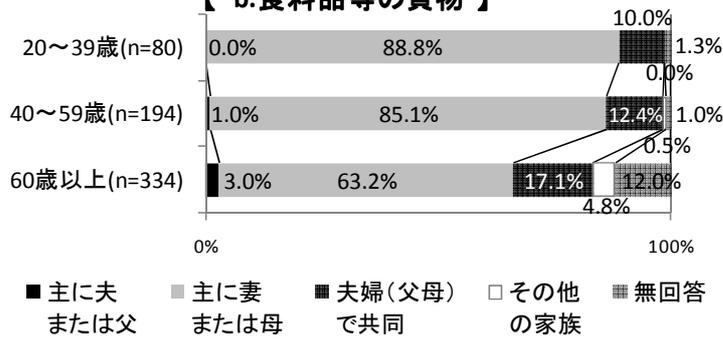


#### 《問 8: 選択項目別の回答状況》



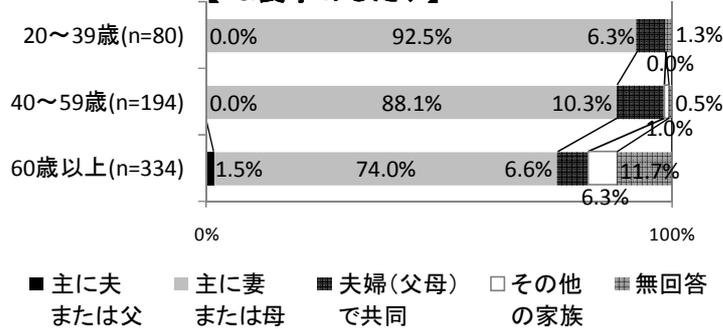
- どの年代も、女性が家計を管理している回答割合が5割から7割と高かった
- 若年層と中年層では、各項目の回答割合に大差はない
- 高齢層では、他の年代よりも男性が家計を管理している割合が2割程度高い。また、「共同」して行うという回答割合も高くなっている

【 b.食料品等の買物 】



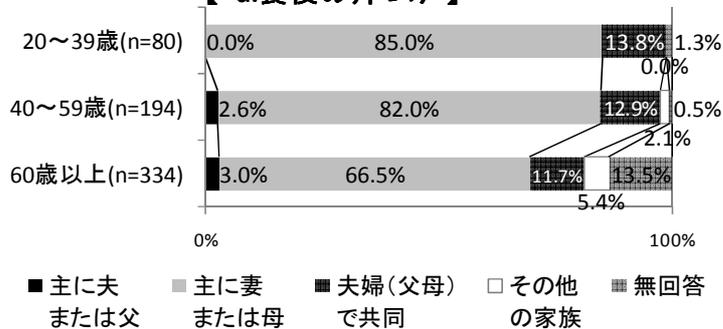
・年齢が高くなるにつれて、女性が担う割合が低くなり、男女が共同して担う割合が高くなっている

【 c.食事のしたく 】



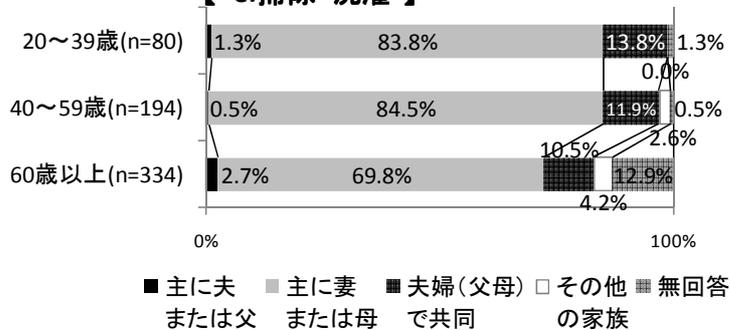
・年齢が高くなるにつれて、女性が担う割合が低くなっている  
 ・高齢層では、「その他の家族」が担う割合が高くなっている

【 d.食後の片づけ 】



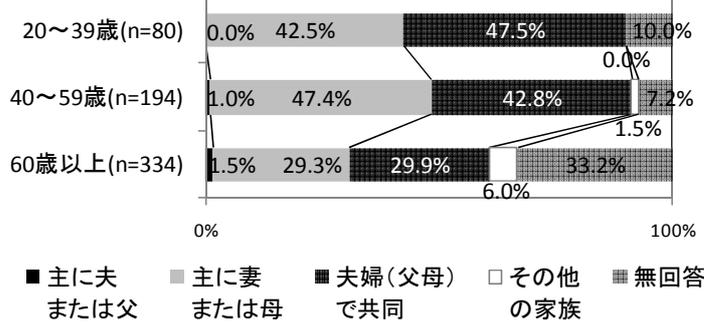
・年齢が高くなるにつれて、女性が担う割合と、男女が共同して担う割合がともに低くなっている

【 e.掃除・洗濯 】



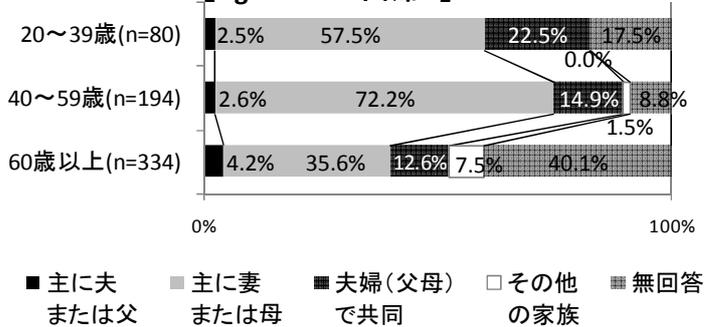
・世代が若いほど、男女が共同して担う割合が高い  
 ・高齢層では、他の年代より女性が担っている割合が低く、男性や「その他の家族」が担う割合がやや高い

【 f.育児・子どもしつけ 】



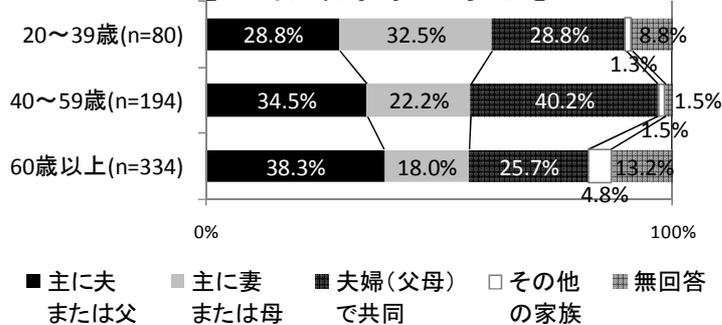
- ・世代が若いほど、男女が共同して担っている割合が高く、若年層と中年層では女性が担っている割合を合わせると約9割を占める
- ・どの年代も、女性が担っている割合と、男女で担っている割合がほぼ同じような割合であった
- ・高齢層では、子育てが終わりつつあるため無回答の割合が高い

【 g.PTAへの出席 】



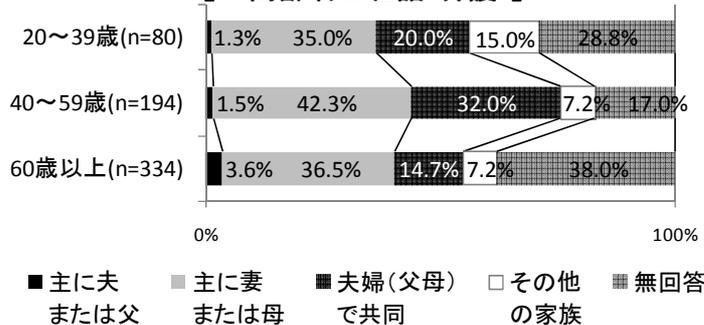
- ・若い世代ほど、男女が共同して担っている割合が高い
- ・中年層では、他の年代に比べて女性が担っている割合が高い
- ・高齢層では、子育てが終わりつつあるため無回答の割合が高い

【 h.町内行事等への参加 】



- ・年齢が高くなるにつれて、男性が参加する割合が高くなり、女性が参加する割合が低くなっている
- ・中年層では、他の年代に比べて男女が共同して参加している割合が高い

【 i.高齢者の世話・介護 】

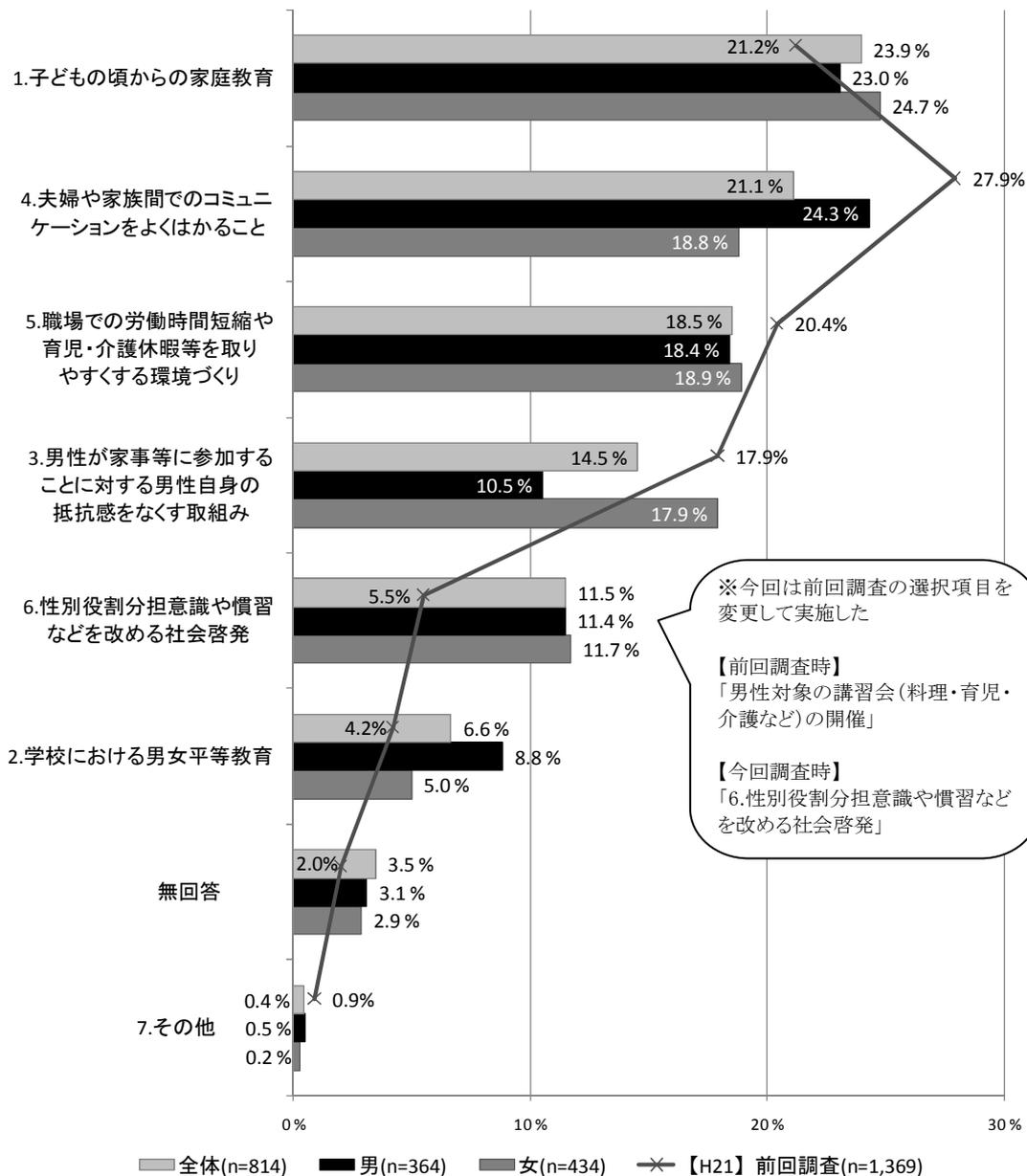


- ・中年層は他の年代に比べて、女性が担っている割合と、男女が共同して担っている割合がそれぞれ高く、双方を合わせると7割を超えている

## 問9 男女が共に家事・地域活動等に参加するために必要なこと

男性と女性が共に家事・育児・介護・地域活動等に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

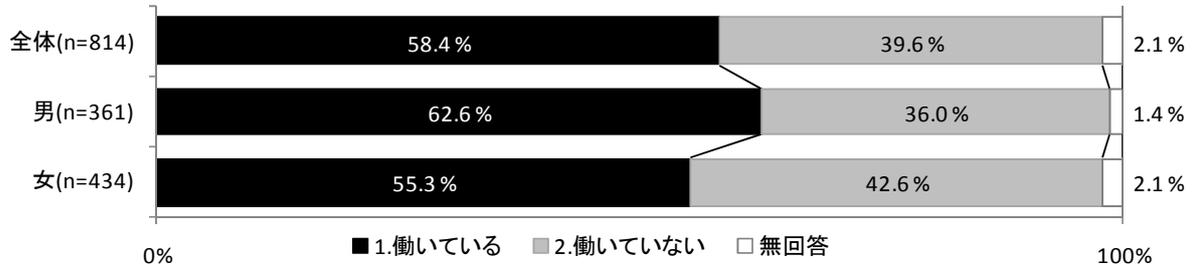
- 全体的に最も回答割合が高かったのは、前回調査では「4.夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」(27.9%)であったが、今回は「1.子どもの頃からの家庭教育」で23.9%であった。また、その結果は女性の回答に顕著であった
- 男性では、「4.夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」の回答割合が最も高かった
- 「3.男性が家事等に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす取組み」については、すべての選択項目の中で、男性と女性の回答割合の差が最も大きかった



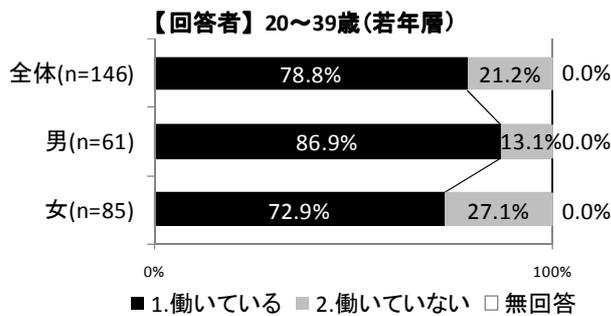
## 問 10 就労の状況

現在、あなたは就業して働いていますか。(単一回答)

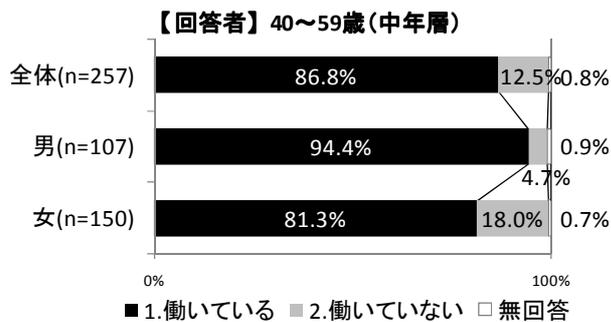
- 回答者の約 6 割が就業者であった
- 女性より男性のほうが就業している割合が高かった



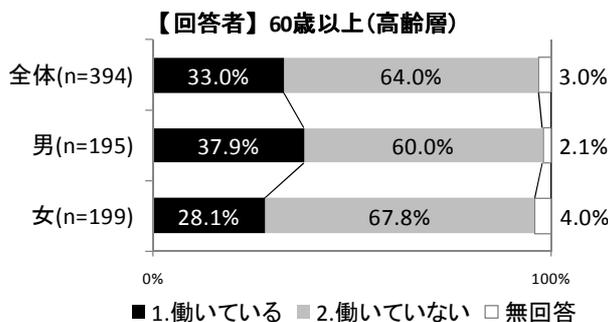
《問 10:年代別の回答状況》 ※性別無回答者除く



- 若年層では、回答者の約 8 割が就業している
- 女性の就業割合は、中年層より低い



- 中年層では、回答者の 9 割近くが就業している
- どの年代よりも、就業している割合が高い

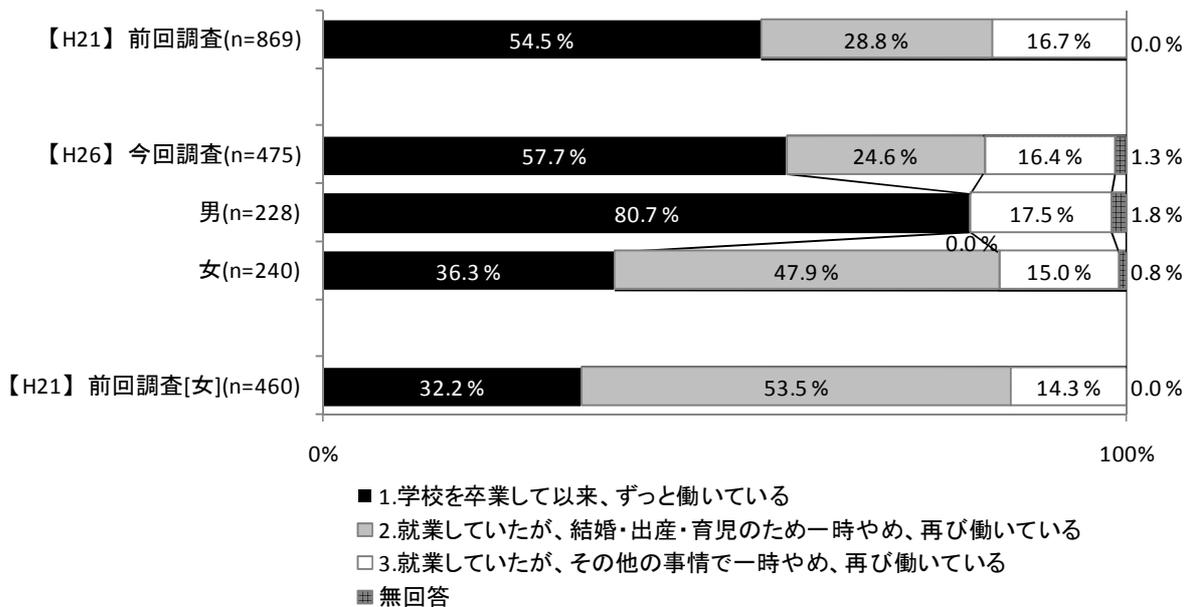


- 高齢層では、回答者の就業割合は約 3 割であった

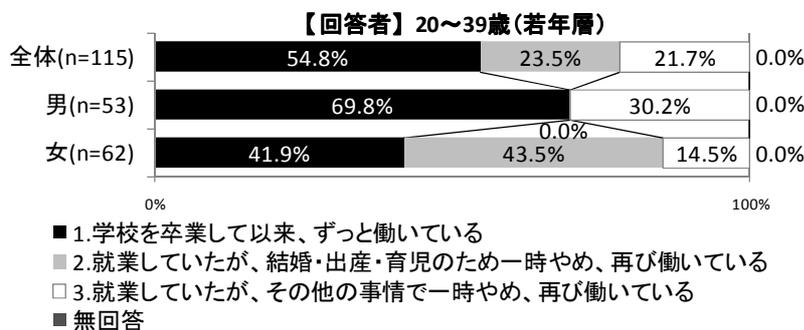
## 問 11 就労の継続状況

「問 10」で「1.働いている」とお答えした方におたずねします。あなたと仕事の関係は次のどれですか。(単一回答)

- 前回調査と同様、全体的には「1.学校を卒業して以来、ずっと働いている」という回答割合が最も高い。なお、その割合は前回より 3.2 ポイント高くなっている
- 男性は、結婚・出産・育児による一時的な離職を経験した回答者はいなかった
- 女性は、結婚・出産・育児による一時的な離職を経験した回答者の割合が 5 割近くを占めた。また、その回答割合は、「1.学校を卒業して以来、ずっと働いている」という回答割合を 11.6 ポイント上回っている
- 女性は前回調査と比べて、「1.学校を卒業して以来、ずっと働いている」の回答割合が 4.1 ポイント高くなっている。一方で、「2. 就業していたが、結婚・出産・育児のため一時やめ、再び働いている」の回答割合は 5.6 ポイント低くなった

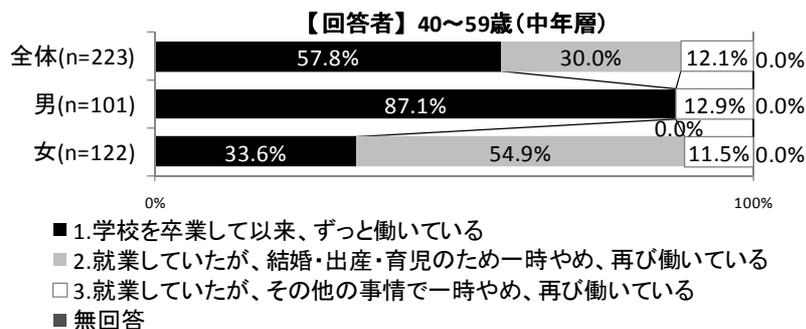


《問 11:年代別の回答状況》 ※性別無回答者除く



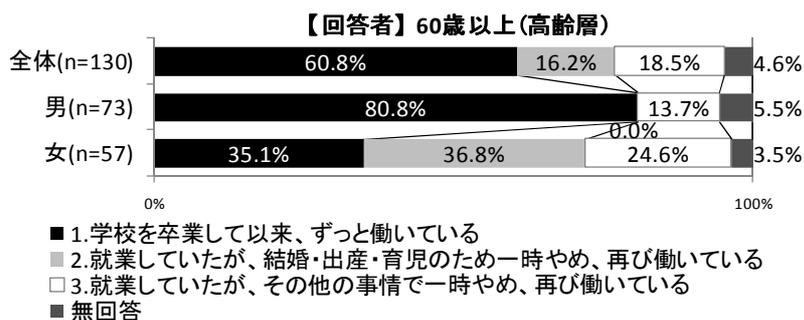
・若年層は、全体的に中年層に比べて「1.学校を卒業して以来、ずっと働いている」割合がやや低い

・若年層の女性は、「1.学校を卒業して以来、ずっと働いている」割合と、結婚・出産・育児によって一時的に離職を経験した回答者の割合が同程度だった



・中年層では、男女の回答の割合比率が、どの年代よりも大きく開いている

・中年層の女性は「1.学校を卒業して以来、ずっと働いている」割合が他の年代よりも低い

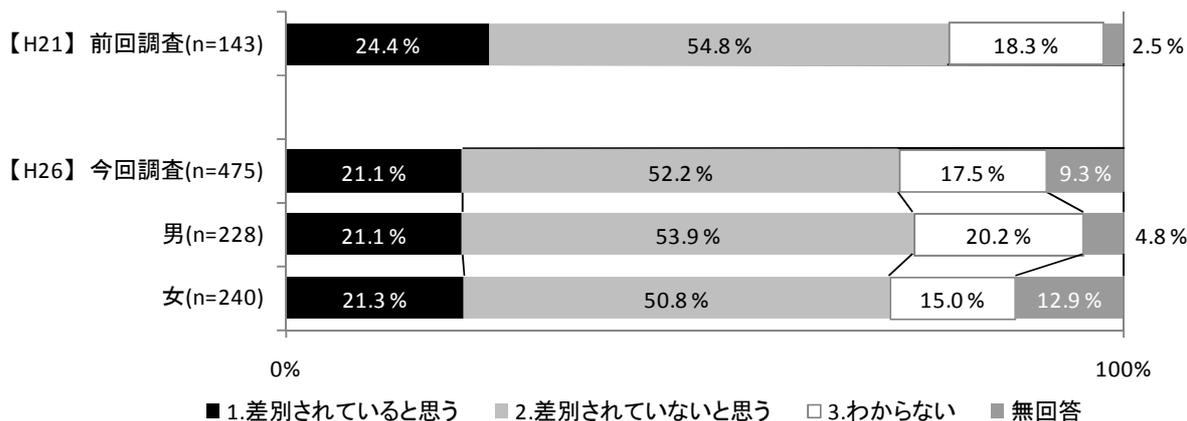


・高齢層では、全体的に「1.学校を卒業して以来、ずっと働いている」割合が他の年代より高い

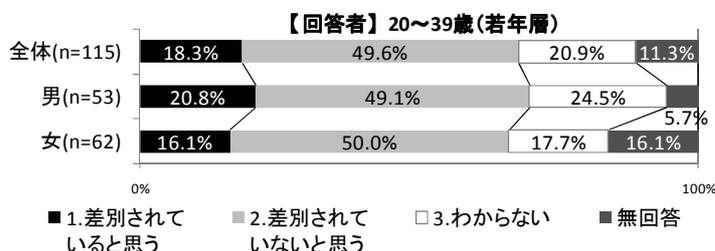
## 問 12 職場における女性への差別的処遇の有無

「問 10」で「1.働いている」とお答えした方におたずねします。あなたの職場では、女性は男性に比べ、仕事の内容や待遇面で差別されていると思いますか。(単一回答)

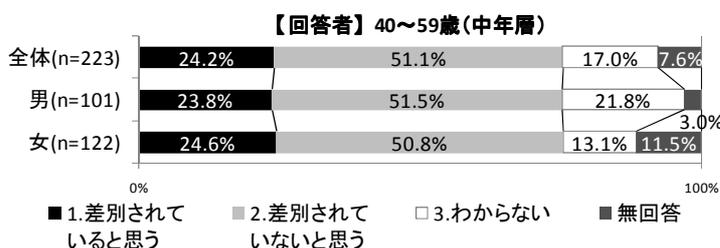
- 前回調査に比べて、「1.差別されていると思う」の回答割合が 3.3 ポイント、「2.差別されていないと思う」が 2.6 ポイント、それぞれ低くなった
- 女性より男性のほうが、「2.差別されていないと思う」の回答割合が 3.1 ポイント高かった



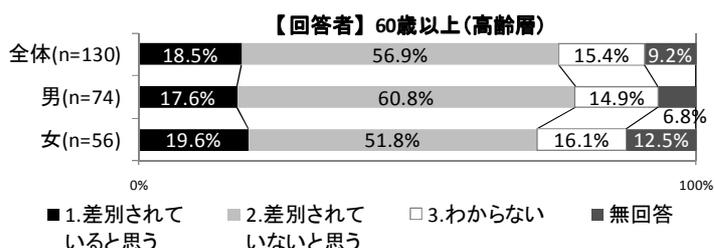
### 《問 12: 年代別の回答状況》 ※性別無回答者除く



・「1.差別されていると思う」と回答した人の割合が最も低かったのは、若年層の女性で 16.1%であった



・「1.差別されていると思う」と回答した人の割合が最も高かったのは、中年層の女性で 24.6%あった

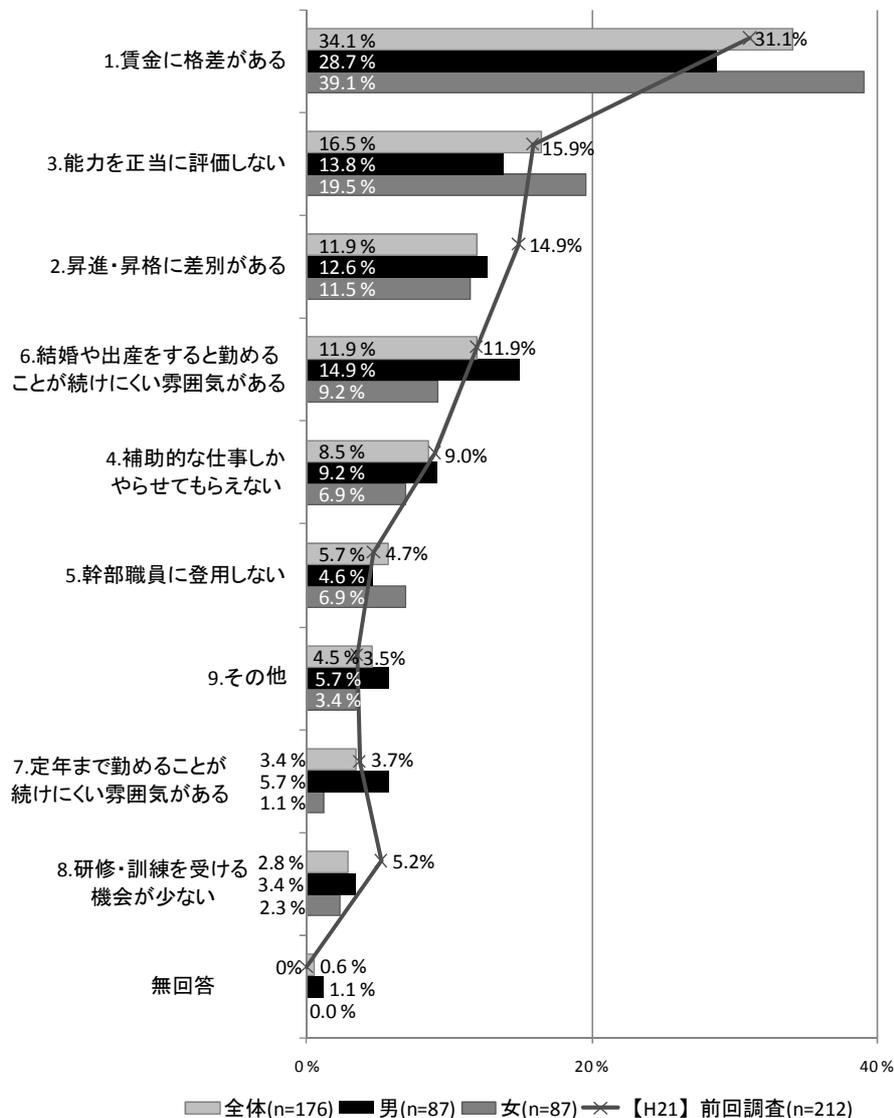


・「2.差別されていないと思う」と回答した人の割合が最も高かったのは、高齢層の男性で 60.8%あった

### 問 13 職場における女性への差別的処遇の状況

「問 12」で「1.差別されていると思う」とお答えになった方におたずねします。それは具体的にどのようなことですか。(複数回答)

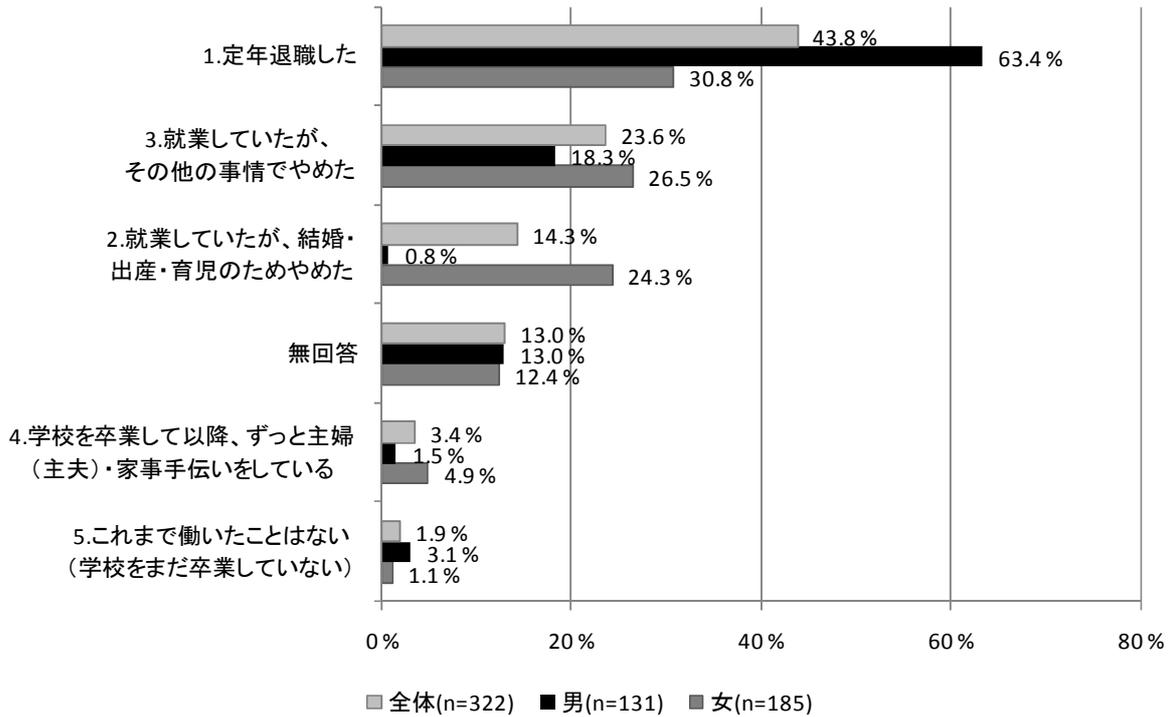
- 前回調査と比べて、全体的な回答割合の大きな変化はなかった
- 今回調査でも、「1.賃金に差別がある」という回答割合が男女ともに最も高く、特に女性に顕著であった
- 全体回答では、前回調査に比べて「1.賃金に格差がある」という回答割合が 3.0 ポイント高くなっている。しかし一方で、「2.昇進・昇格に差別がある」という回答割合は 3.0 ポイント低くなった
- 女性においては、「6.結婚や出産をすると勤めることが続けにくい雰囲気がある」よりも、「3.能力を正當に評価しない」という回答割合のほうが倍以上高かった
- 男性においては、「6.結婚や出産をすると勤めることが続けにくい雰囲気がある」という回答割合が 2 番目に高かった



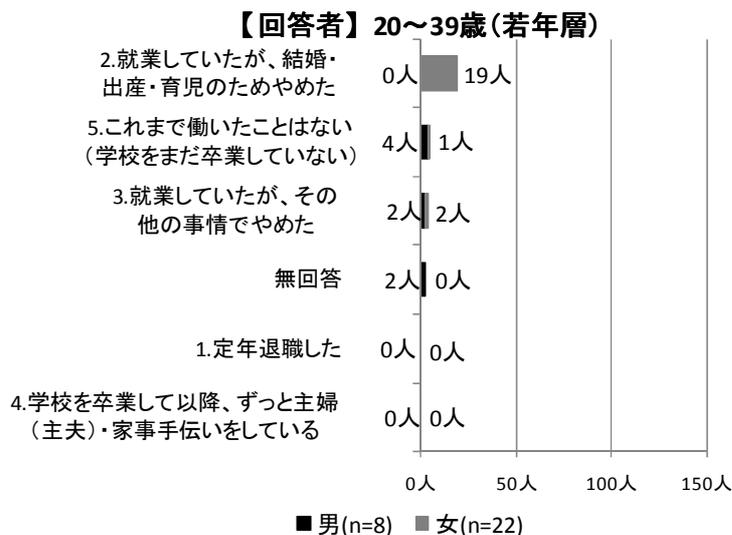
## 問 14 就労していない理由

「問 10」で「2.働いていない」とお答えした方におたずねします。あなたと仕事の関係は次のどれですか。(単一回答)

- 全体的には、「1.定年退職した」という回答割合が男女ともに最も高かった
- 女性では、「2.就業していたが、結婚・出産・育児のためやめた」(24.3%)より、それ以外の事情でやめた(26.5%)という回答割合が高かった

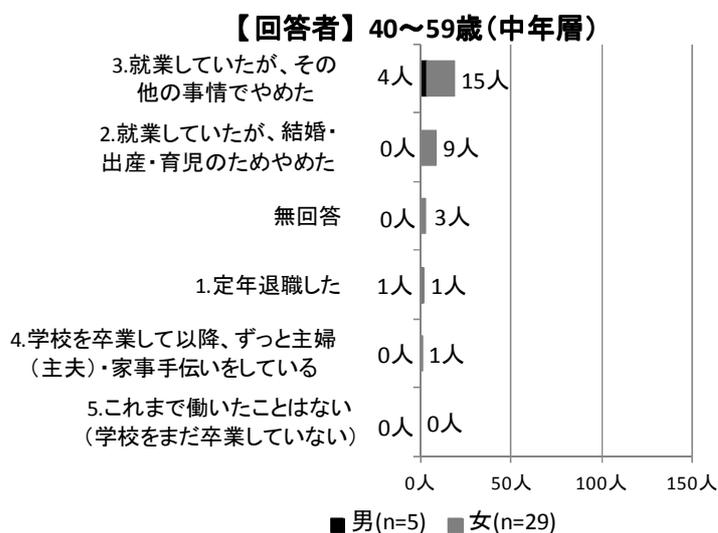


## 《問 14: 年代別の回答状況》



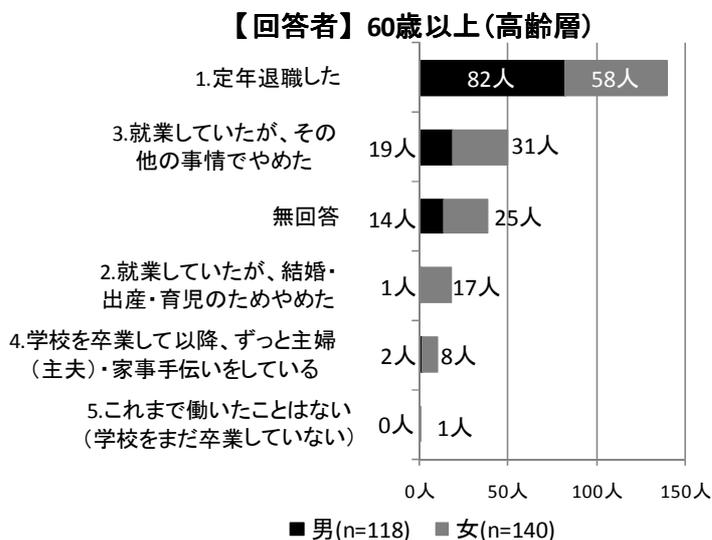
・若年層では、問 10 の結果から回答者の約 8 割が就労中であったため、問 14 の回答者数は 30 人と全体的に少なかった

・なかでも、女性の回答の「2.就業していたが、結婚・出産・育児のためやめた」が、若年層の回答の過半数を占めた



・中年層についても若年層と同様に、問 10 の結果から回答者の 9 割近くが就労中であったため、問 14 の回答者数は 34 人と全体的に少なかった

・「3.就業していたが、その他の事情でやめた」の回答が最も多かった



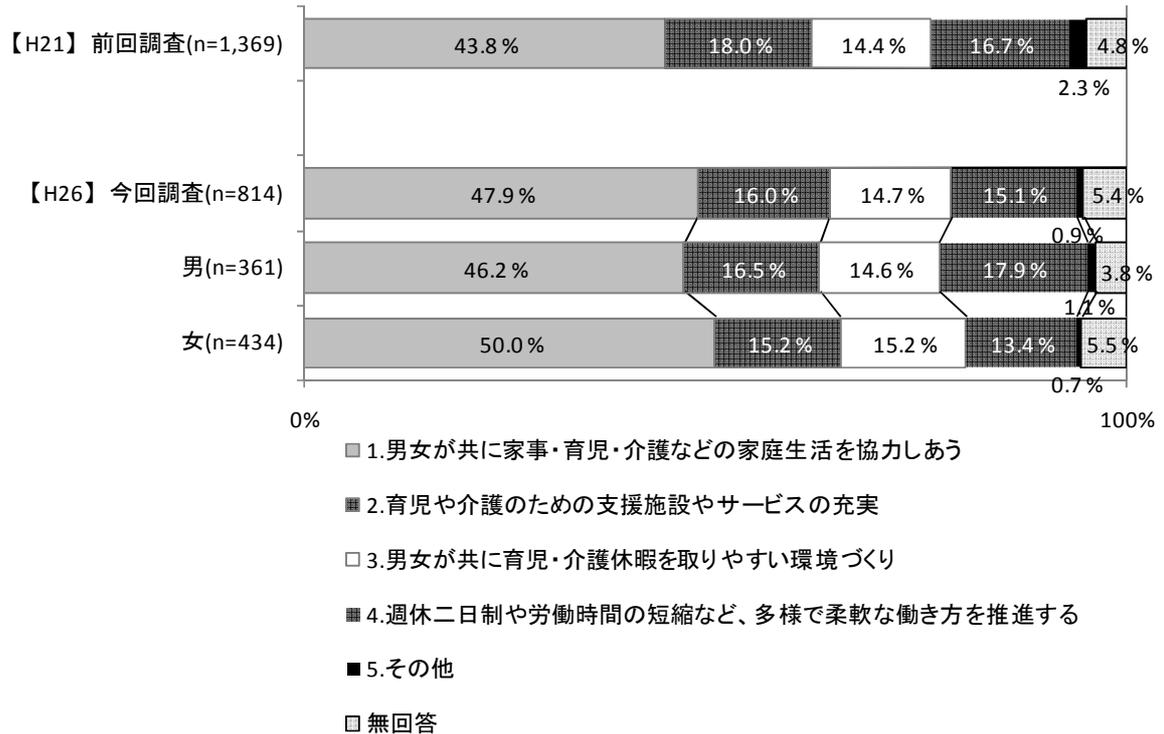
・高齢層については、問 10 で回答者の約 6 割が「働いていない」としていることに関連し、問 14 の回答者数は他の年代に比べて 258 人と多かった

・回答者の過半数が「1.定年退職した」という回答だった

## 問 15 仕事と家庭生活を両立させるために必要なこと

仕事と家庭生活を両立させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(単一回答)

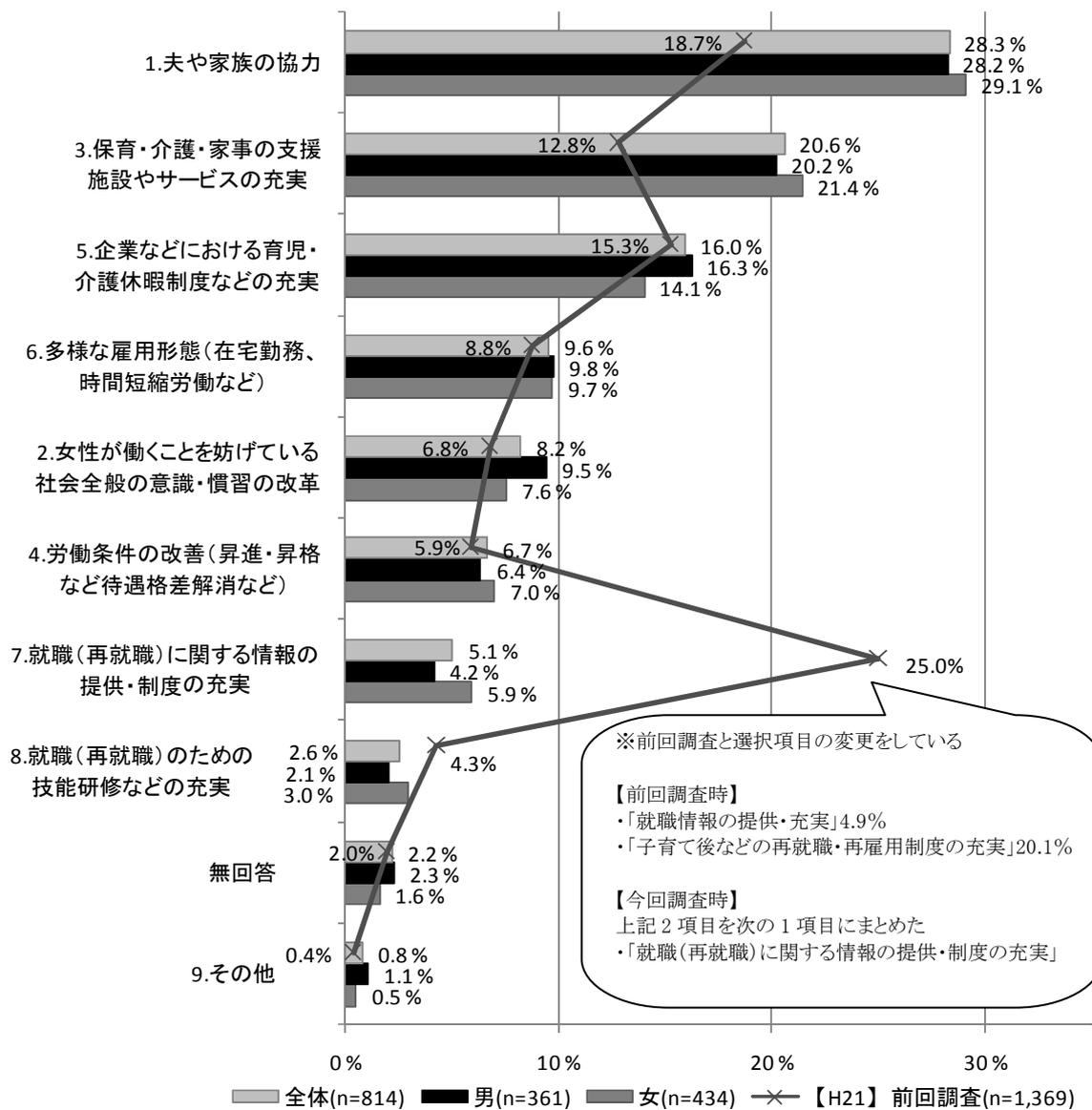
- 前回調査と同様に、「1.男女が共に家事・育児・介護などの家庭生活を協力しあう」という回答割合が男女ともに最も高かった。また、前回調査よりもその割合が 4.1 ポイント高くなっている
- 男性では、「4.週休二日制や労働時間の短縮など、多様で柔軟な働き方を推進する」とことという回答割合が 2 番目に高かった



## 問 16 女性が仕事を続けるために必要な支援

女性が生涯にわたり仕事を続けるためには、どのような支援や改善が必要だと思いますか。(複数回答)

- 全体的には、前回調査と同様に「1.夫や家族の協力」の回答割合が最も高く、男女ともに同じ傾向にあった。また、前回調査に比べて9.6ポイント高くなっていた
- 2番目に回答割合が高かった「3.保育・介護・家事の支援施設やサービスの充実」は、前回調査に比べて7.8ポイント高くなっている
- 各選択項目において、男女の回答割合に大きな差はみられなかった

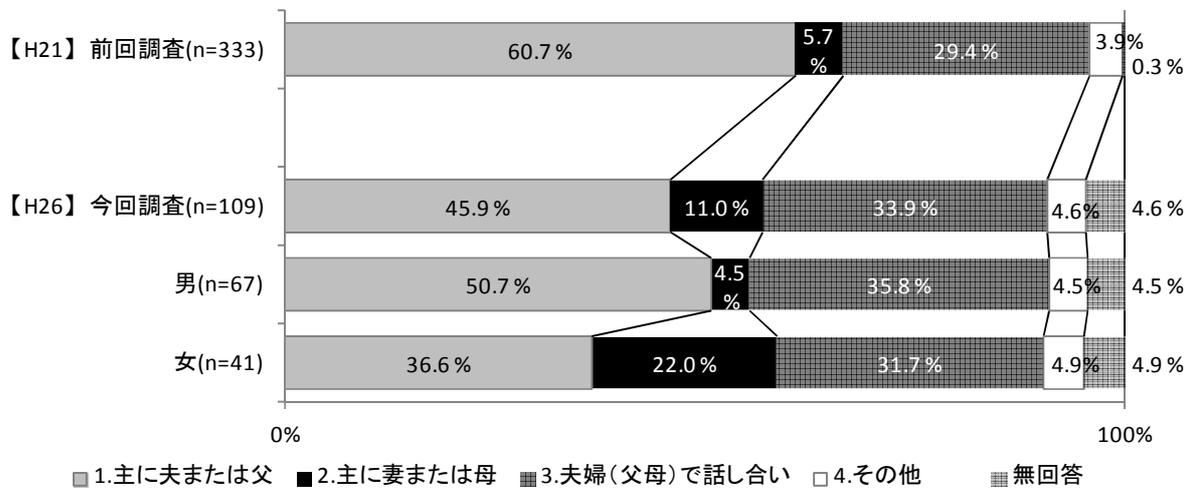


## 4.仕事について

### 問 17 自営業者における経営方針の決定者

農林漁業・サービス業等の自営業に従事されている方におたずねします。事業経営の方針などは誰が決定していますか。(単一回答)

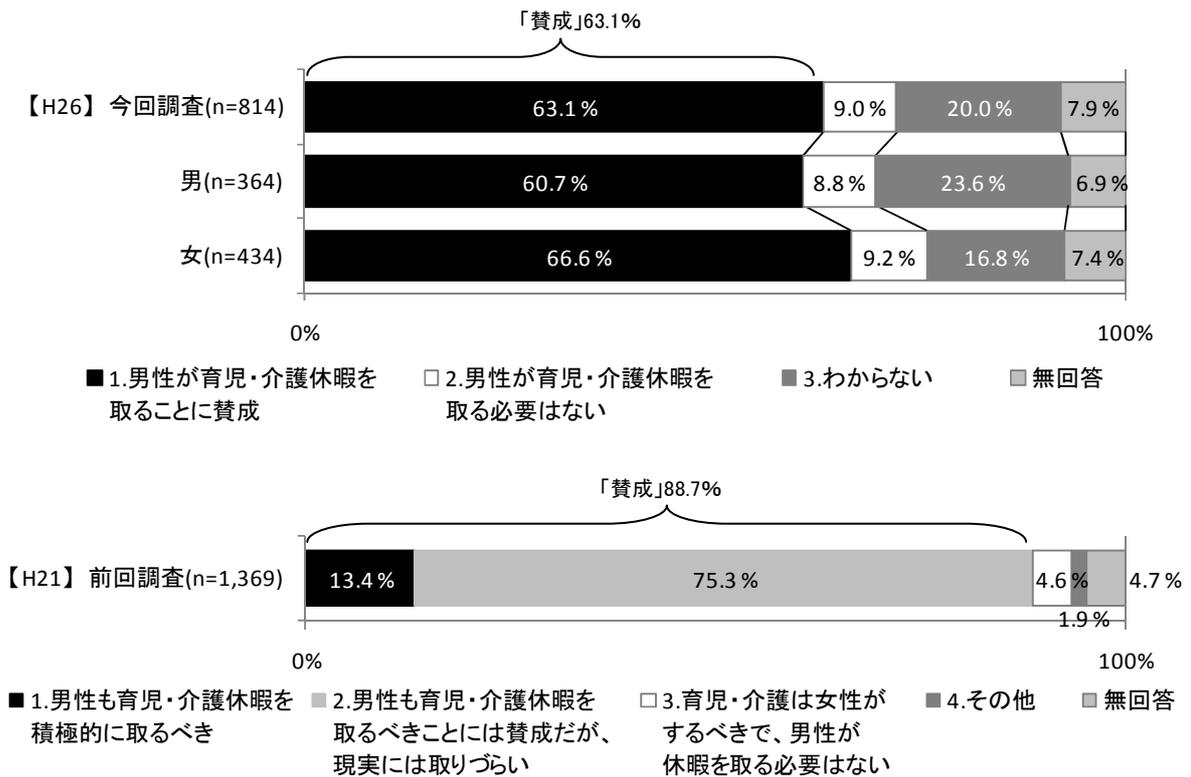
- 全体的に、前回調査と同様に「1.主に夫または父」が決定するという回答割合が最も高かった。しかし、前回調査に比べてその割合は14.8ポイント低くなった
- 「2.主に妻または母」が決定していると回答した女性の割合は、男性の回答の5倍近かった
- 「3.夫婦(父母)で話し合い」をしていると回答した割合は、女性より男性が高かった



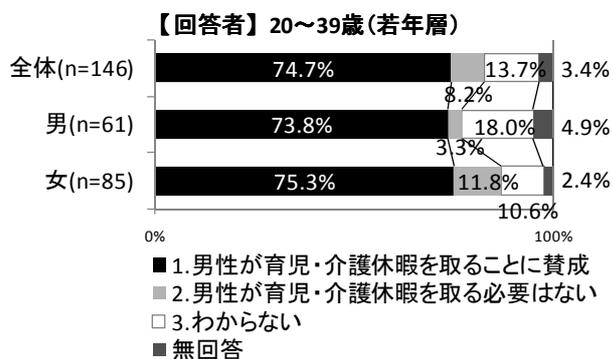
## 問 18 男性の育児・介護休暇の取得について

あなたは、男性が育児・介護休暇を取ることに、どのように考えますか(単一回答)

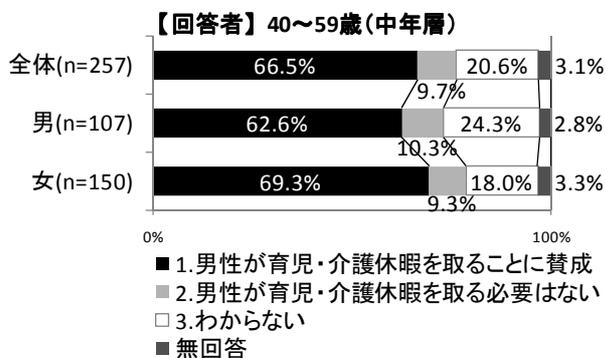
- 前回調査と選択項目を変更したため、調査結果を比較すると異なる傾向がみられた
- 今回調査では、全体的に「1.男性が育児・介護休暇を取ることに賛成」という回答割合が最も高かった
- 男性よりも女性のほうが、男性の休暇取得に賛成する回答割合が高かった



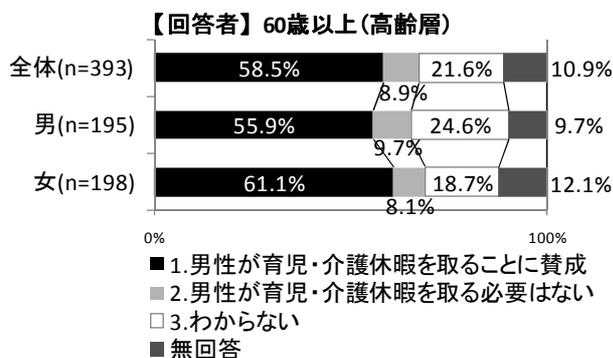
《問 18: 年代別の回答状況》 ※性別無回答者除く



・「1.男性が育児・介護休暇を取ることに賛成」と回答した人の割合が最も高かったのは、若年層の男性であった



・中年層と高齢層では、「2.男性が育児・介護休暇を取る必要はない」と回答した人の割合はほとんど変わらなかった



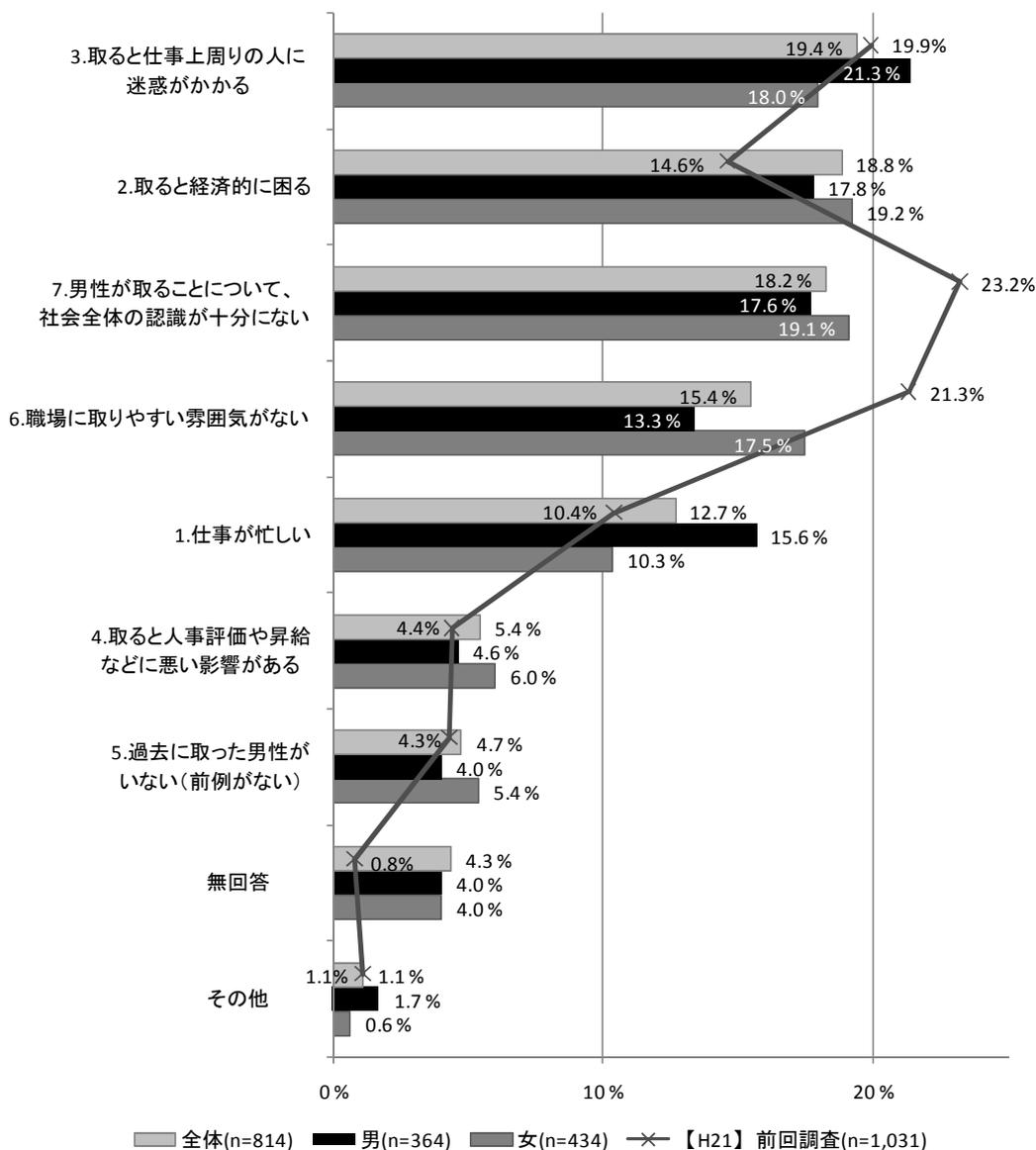
・「1.男性が育児・介護休暇を取ることに賛成」と回答した人の割合が最も低かったのは、高齢層の男性であった

- 年代が高くなるに従い、「1.男性が育児・介護休暇を取ることに賛成」という回答割合は低くなっている

## 問 19 男性が育児・介護休暇を取得しづらい理由

あなたは、男性が育児・介護休暇を取りづらい理由は何だと思いますか(複数回答)

- 前回調査に比べると、回答割合の高低順が異なる結果となった
- 前回調査で最も回答割合が高かったのは「7.男性が取ることについて、社会全体の認識が十分でない」(23.2%)であったが、今回は3番目となり18.2%と前回より5.0ポイント低くなっている
- 今回の調査で最も回答割合が高かったのは、「3.取ると仕事上周りの人に迷惑がかかる」の19.4%で、男性の回答に顕著であった
- 女性の回答で最も割合が高かったのは、「2.取ると経済的に困る」であった

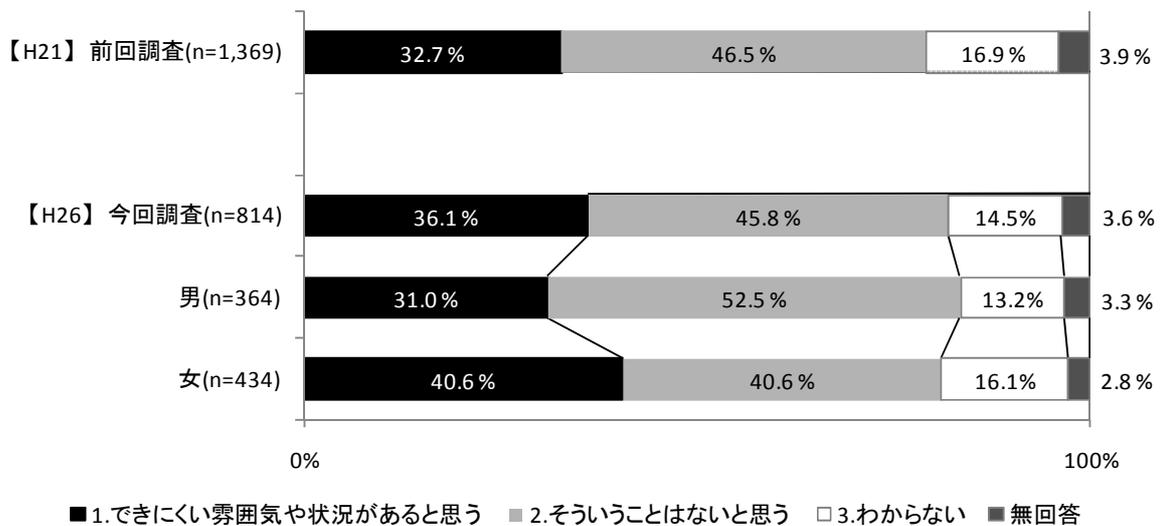


## 5.地域活動について

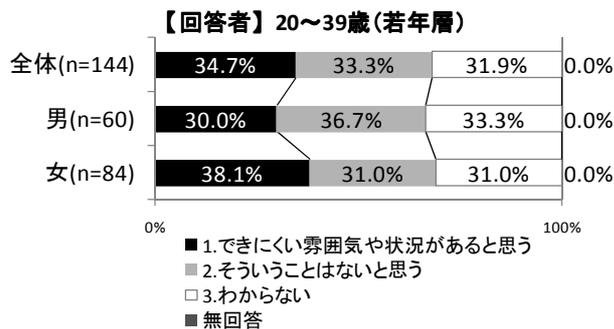
### 問 20 地域等の集まりへの女性の参加状況

あなたは、女性が地域の集まりや作業の中で、男性と共に参加しにくい、あるいは男性と同じようには発言しにくいという雰囲気や状況があると思いますか。(単一回答)

- 前回と同様、全体的に「2.そういうこと(女性が地域等への集まりに参加できにくい状況)はないと思う」の回答割合が45.8%と最も高かった。また、女性より男性の回答のほうが、その結果が顕著であった
- 女性では、「1.できにくい雰囲気や状況があると思う」と「2.そういうことはないと思う」の回答割合が同率で40.6%であった

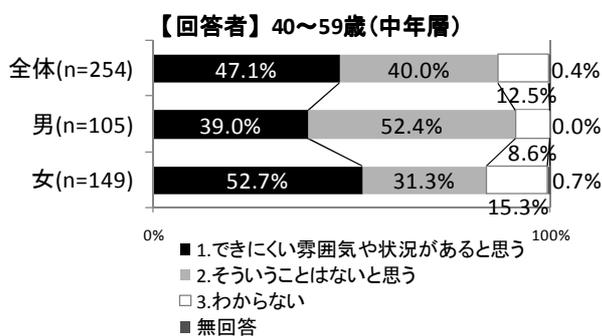


《問 20:年代別の回答状況》

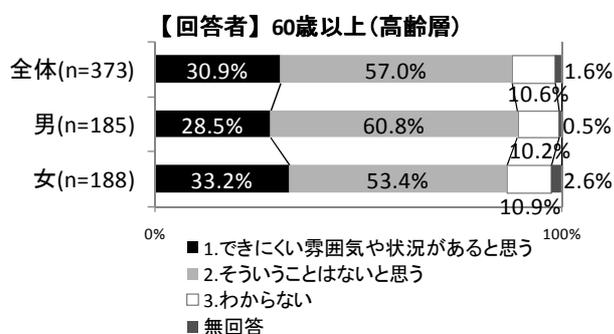


・若年層では、各選択肢の回答割合が同程度であった

・「2.そういうことはないと思う」の回答割合が最も低かったのは、若年層の女性で31.0%であった



・「1.できにくい雰囲気や状況があると思う」の回答割合が最も高かったのは、中年層の女性で52.7%であった

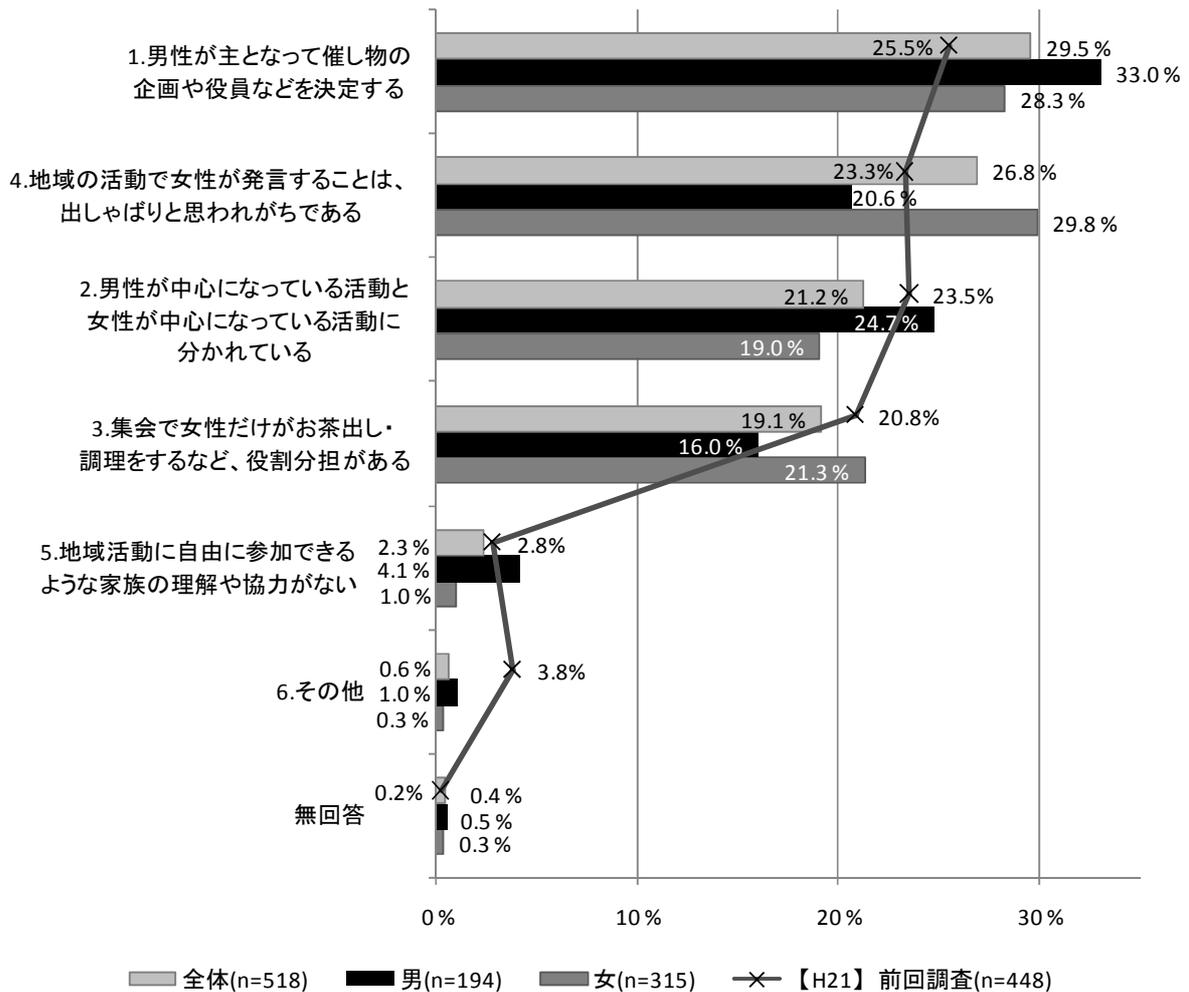


・高齢層は、男女ともに「2.そういうことはないと思う」という回答割合が高めであった。とりわけ高齢層の男性の回答割合は60.8%と最も高かった

## 問 21 女性が地域等の集まりへ参加しにくい具体的状況

「問 20」で「1.できにくい雰囲気や状況があると思う」とお答えした方におたずねします。それはどんな雰囲気や状況だと思いますか。(複数回答)

- 前回調査と同様に、全体的には「1.男性が主となって催し物の企画や役員などを決定する」の回答割合が最も高かった。また、その回答結果は男性に顕著であった
- 女性では、「4.地域の活動で女性が発言することは、出しゃばりと思われがちである」の回答割合が最も高かった

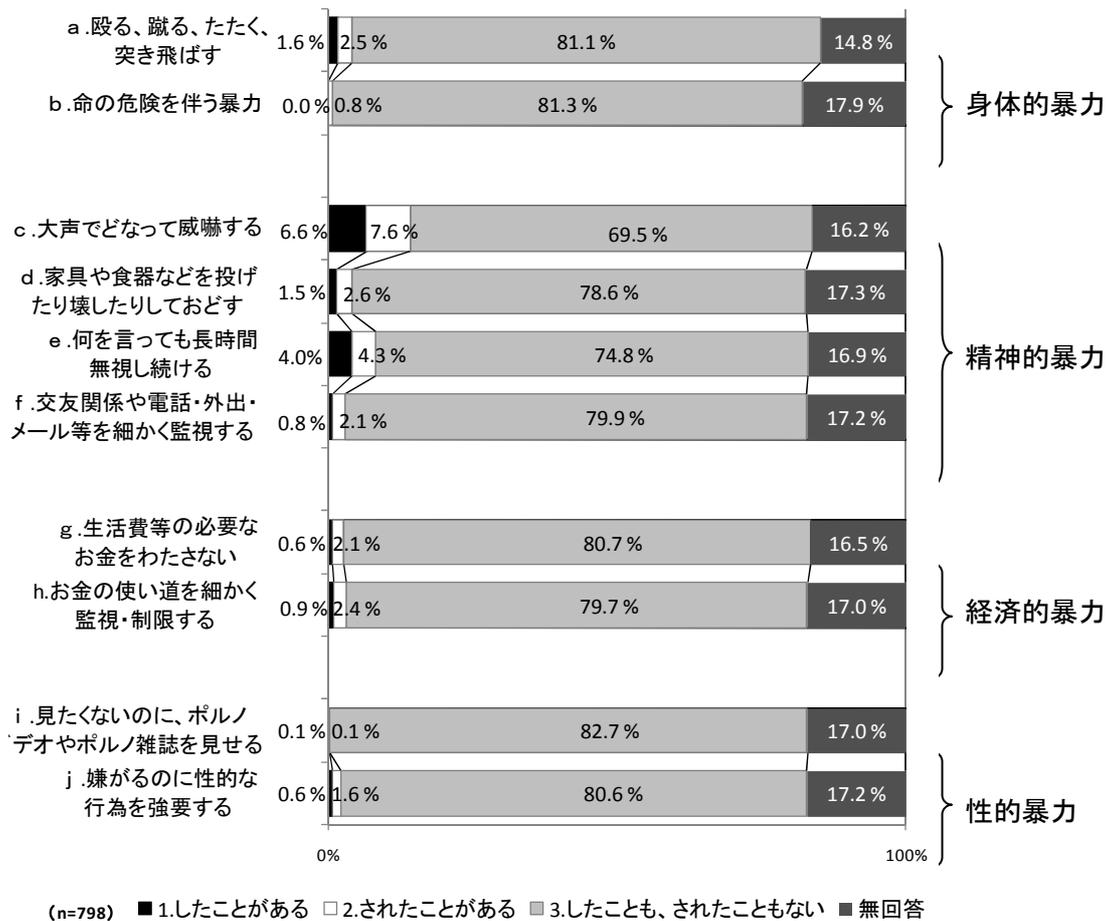


## 6.男性と女性の人権について

### 問 22 パートナーから受けるDV（ドメスティック・バイオレンス）の状況

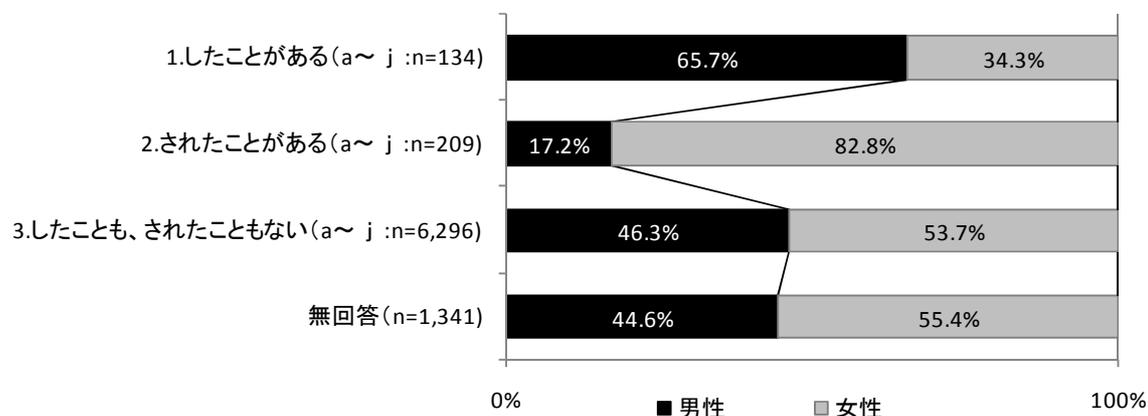
あなたは、この1年間に、配偶者や恋人など親しい関係にある人との間で、次のようなことをしたり、されたりしたことがありますか。（項目ごとに単一回答）

- 全体的に、「3.したことも、されたこともない」という回答割合が高かった
- どの項目も、「無回答」の回答割合が2番目に高かった
- 「1.したことがある」と「2.されたことがある」のどちらにおいても、回答割合が最も高かったのは「c.大声でどなって威嚇する」であった。次に高かったのは、「e.何を言っても長時間無視し続ける」であった



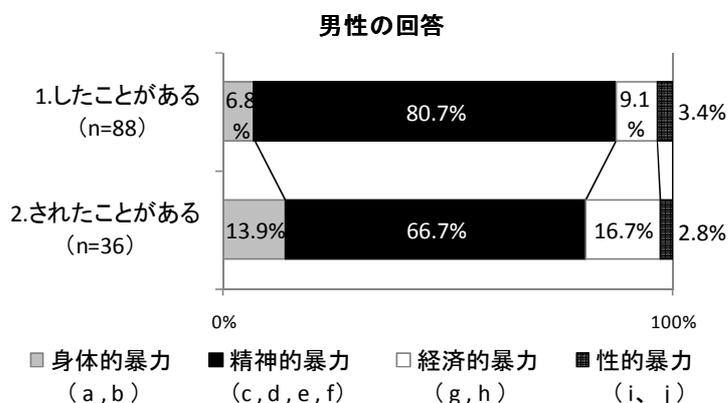
## 《問 22:DV の加害と被害の状況》

- 「1.したことがある」(※複数項目)と回答した人の6割以上が男性であった
- 「2.されたことがある」(※複数項目)と回答した人の8割以上が女性であった

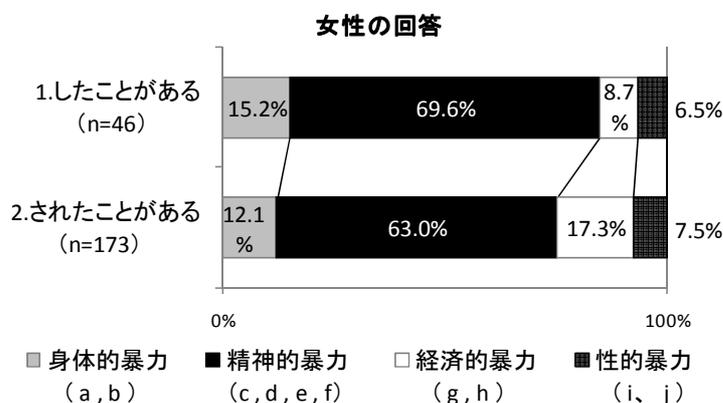


## 《問 22:男女別の回答状況》

- 暴力の種類によって選択肢数が異なっていることを考慮しなければならないが、加害と被害の双方において「精神的暴力」の回答割合が男女ともに高かった



・「したことがある」と回答した男性(88人)は、女性(46人)の2倍近く多かった



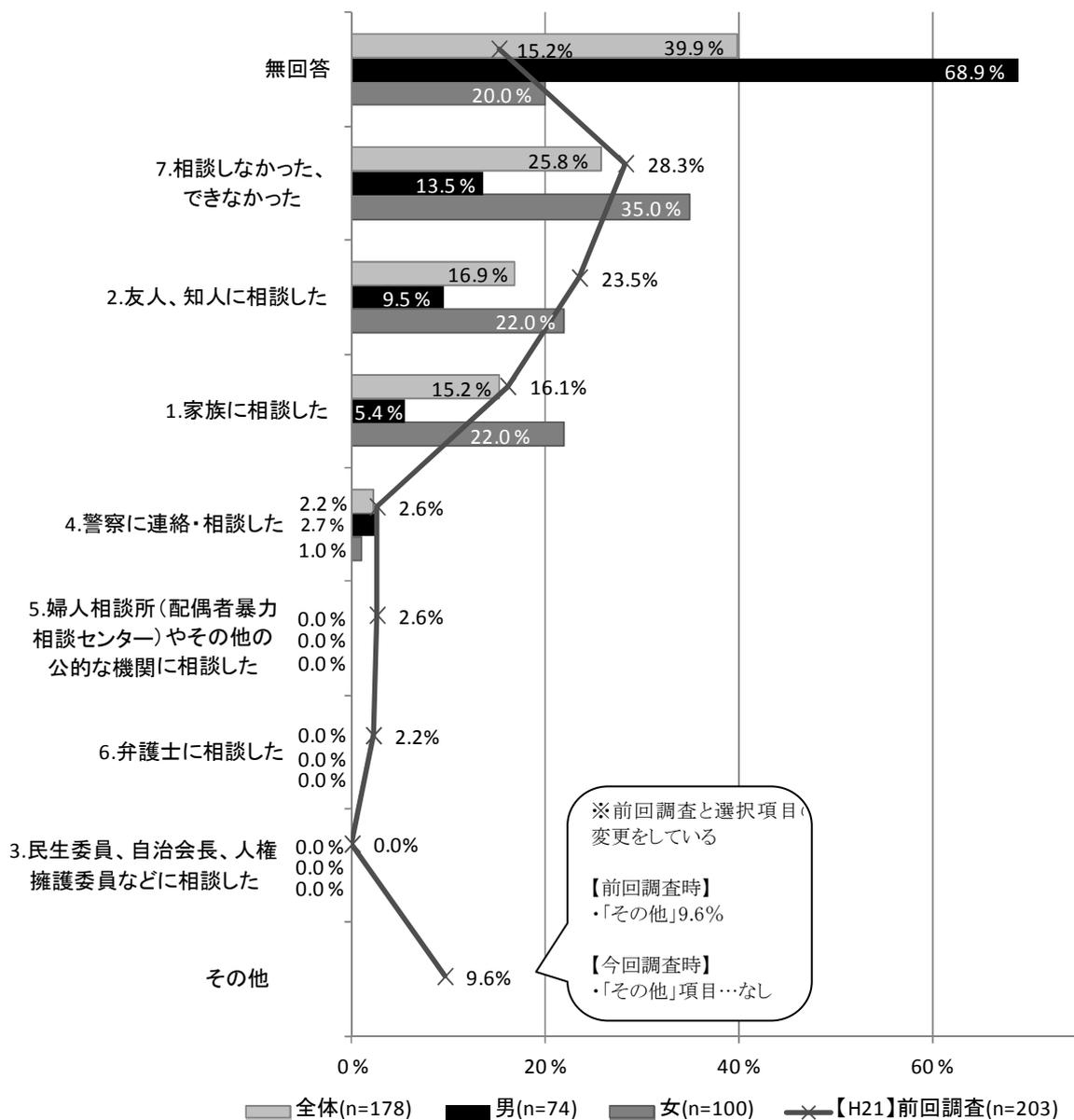
・「されたことがある」と回答した女性(173人)は、男性(36人)の5倍近く多かった

・女性は男性に比べて、「性的暴力」の回答割合が高い

### 問 23 DV（ドメスティック・バイオレンス）の相談状況

「問 22」で「されたことがある」とお答えした方におたずねします。誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（複数回答）

- 全体的に「無回答」の割合が高く、特に男性に顕著であった。また、前回調査に比べて無回答の割合が高くなっている
- 警察への連絡・相談はわずかにあったが、その他の公的機関や専門機関等への相談は0%であった
- 女性では、「7.相談しなかった、できなかった」という回答割合が 35.0%と最も高かった。次いで、「2.友人、知人に相談した」と「1.家族に相談した」がともに22.0%と高かった

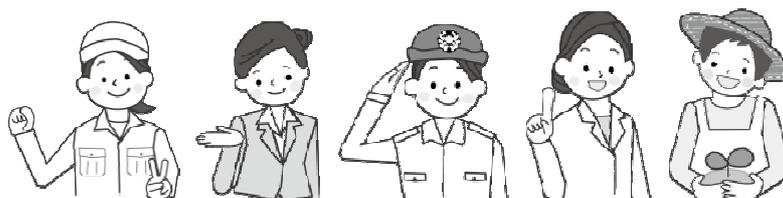
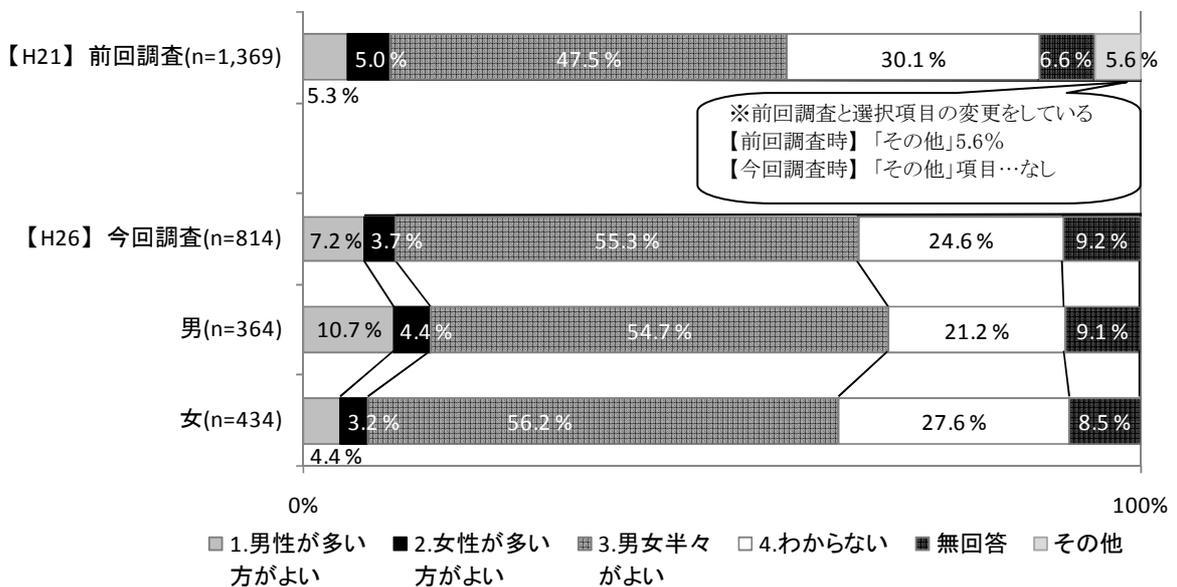


## 7.政策決定の場への女性の参画について

### 問 24 審議会等における女性登用率について

本市では、平成 27 年度までに審議会等の女性登用率 35%を目指していますが、平成 25 年 4 月 1 日現在は 28.1%という状況です。このことをあなたはどのように思いますか。(単一回答)

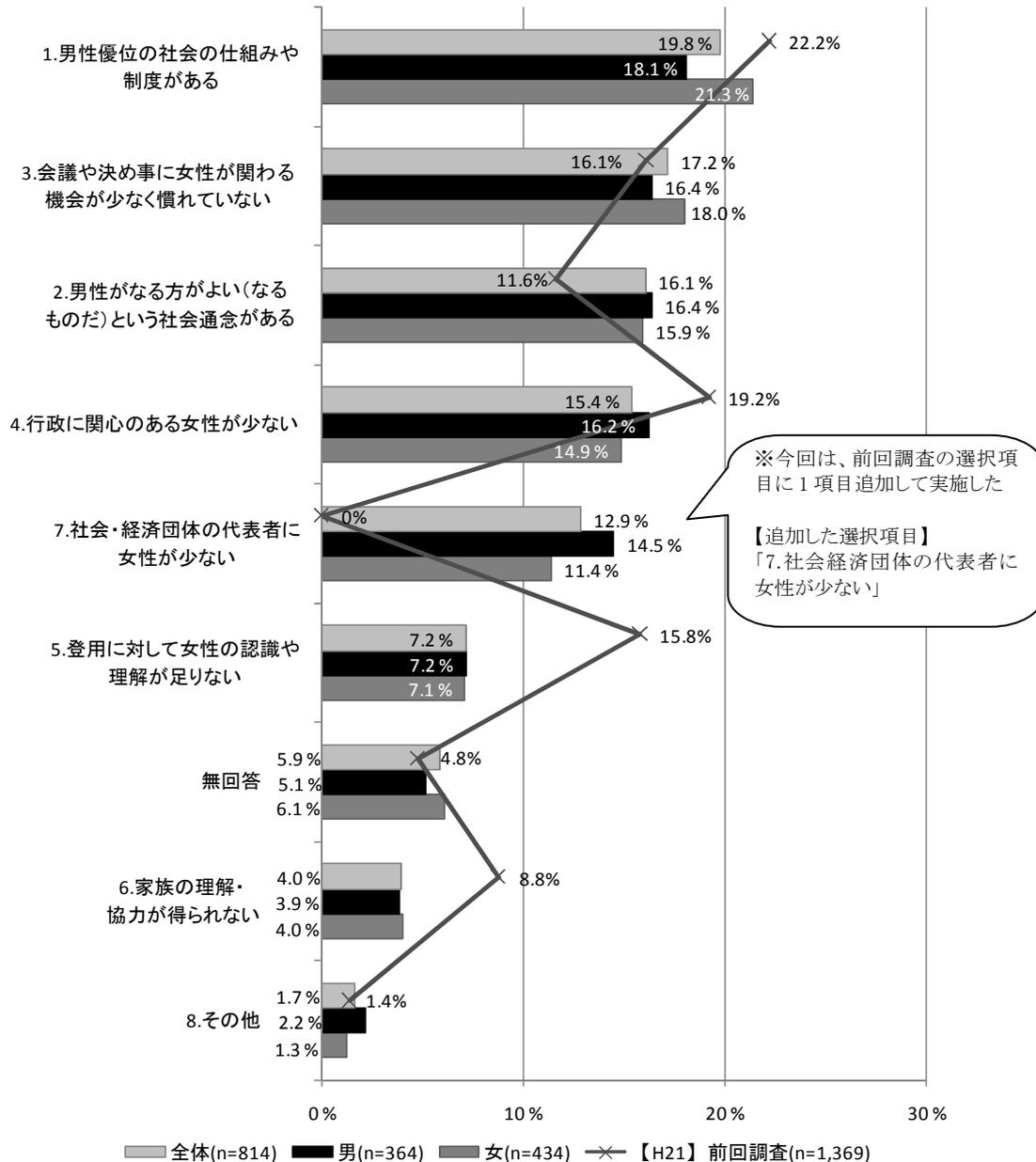
- 前回調査と同様に、「3.男女半々がよい」という回答割合が最も高く、前回調査よりも 7.8 ポイント高くなった
- 「4.わからない」という回答割合も 2 番目に高く、女性の回答割合は 3 割近かった
- 男性よりも女性のほうが、「3.男女半々がよい」という回答割合が高かった
- 女性よりも男性のほうが、「1.男性が多いほうがよい」という回答割合が高かった



## 問 25 審議会等に女性委員が少ない理由

あなたは、審議会等に女性委員が少ない理由は何だと思いますか。(複数回答)

- 今回の調査では選択肢を新たに1項目増やしたものの、前回調査と同様に、最も回答割合が高かったのは「1.男性優位の社会の仕組みや制度がある」で19.8%であった。また、男女別の回答割合をみても、それぞれ最も高かった
- 女性では、「3.会議や決め事に女性が関わる機会が少なく慣れていない」が2番目に高かった

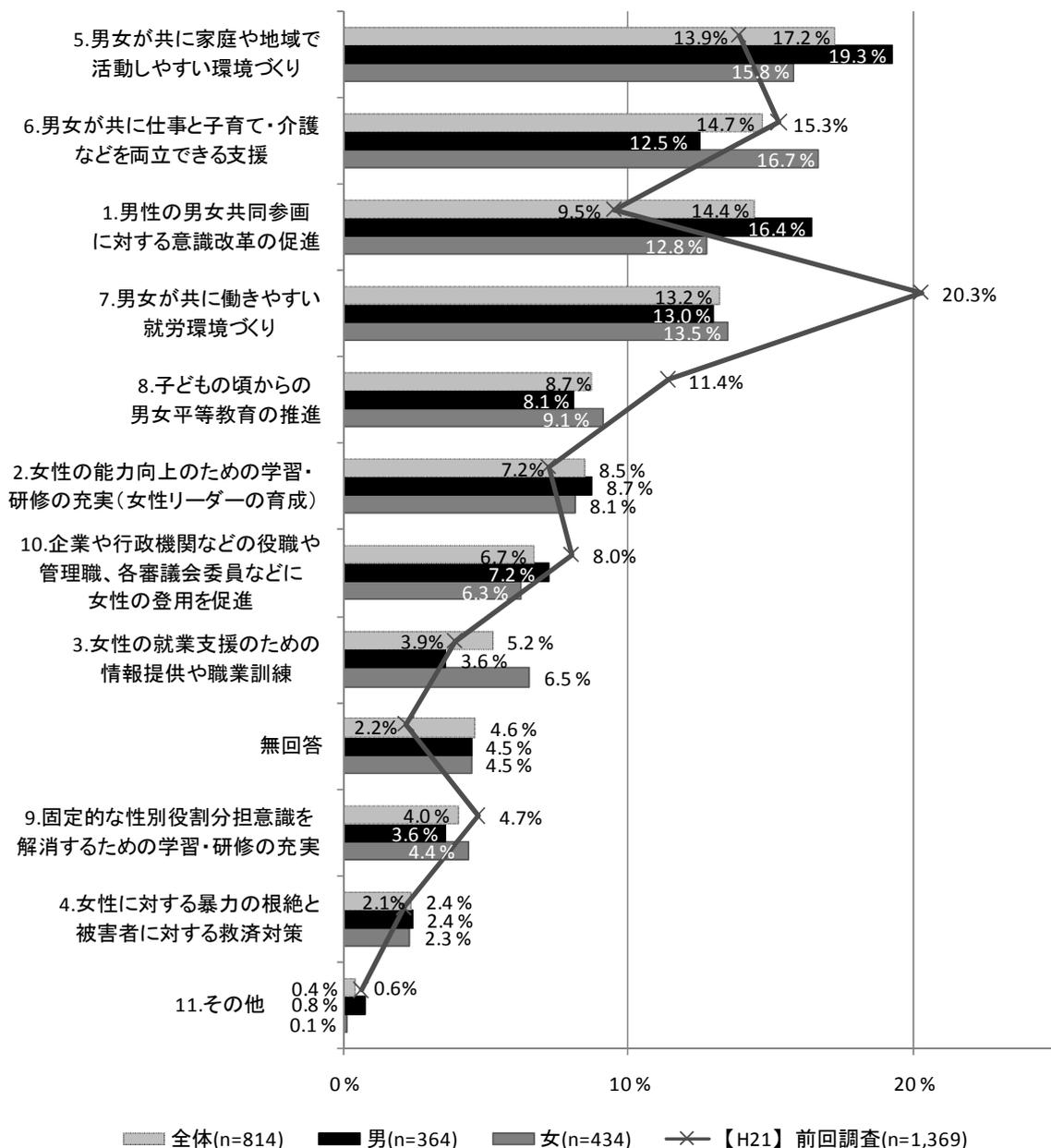


## 8.男女共同参画への要望について

### 問 26 男女共同参画社会の実現に向けて必要な取組み

あなたは、男女共同参画社会の実現のために、今後どのような取組みが必要だと思いますか。(複数回答)

- 全体的にみると、前回調査で最も回答割合が高かったのは「7.男女が共に働きやすい就労環境づくり」(20.3%)だったが、今回は「5.男女が共に家庭や地域で活動しやすい環境づくり」(17.2%)であった。また、その回答結果は男性に顕著であった
- 女性では、「6.男女が共に仕事と子育て・介護などを両立できる支援」の回答割合が最も高かった



## 問 27 男女共同参画社会の実現に対する意見

男性と女性が、職場・学校・地域・家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するために、ご意見がありましたらご記入ください。

\* 文章は原文を基本としていますが、紙面の都合等で一部抜粋しています。

### ◆地域・社会に関すること

1. 保育園の保育時間の幅を広げる。保育料が高いので、補助を増やす等で子どもをもっと預けやすい環境にしてほしい。共働きの場合は時間の制限プラス延長保育料が高いこともありネックになります。【20代男性】
2. 男女差別の意識(男性優遇)が強いのは年齢の高い人が多いと思う。しかも男性。行政・企業の管理職もこういった人が多いのでまずは若い人も増やし環境を変える事も大事だと思う。経験・実績を気にしては、流れは変わらないと思う。若い人の方が男女共同の意識ははるかに高い!【20代男性】
3. 女性しか子どもを産めません。女性優遇の政策・お金の掛からない育児サービスを進めてほしい。【20代男性】
4. 各世帯が不満等を打ち明けられる所を作ってもらえると、過ごしやすいと思います。どこに悩みを訴えればいいのか分からないと思います。子どもにきちんと向かい合える生活が出来る社会作りを目指してほしいです。【20代女性】
5. 現時点では、男性優位の社会になっている事実は、否めない。しかし、女性の社会進出が遅れることは、それだけ人材を社会に供給できないことを意味しており、大きな社会的損失と考える。社会進出できない女性を一刻も早く共同参画させることは、喫緊の課題ではあるが、問題はその手法である。  
現在社会の中心を担う男性側に女性への門戸を広げるよう要求し、「男性側の努力」で女性の社会進出を確保しようとするのでは、いつまで経っても「男女共同参画社会」は実現できない。女性自らが学び、社会の中心にいる男性に劣らぬ能力を身につけ、責任ある立場に着き得る意欲・精神力といかなる批判にも耐え得る忍耐力を身につけなければならない。  
社会において女性は「守られるべきもの」「弱きもの」との意識を変革し、有能で強い一人として認識されること、それが「男女共同参画社会」を実現する最低条件と考える。【30代男性】
6. 学校現場では男女は平等、公平に評価されているにも関わらず、社会に出ると差が出るのは、女性は結婚・出産で仕事を辞めるというイメージ、つまり、社会の環境が働く女性に優しくないためです。そもそも行政に女性が少ない状況では、何も変わらないのでなかなか進展が難しい問題だとも思います。【30代男性】
7. 仕事については働きに出たくない女性が経済的理由で働かざるえないケースが多いように感じる。よって理想的な子育てができないという人を多く知っている。また仕事で忙しくなれば地域活動にも参加できない。まずは夫婦共働きをしなければ生活が成り立たない雇用体制を是正するべきだ。【30代男性】
8. 画一的な教育ではなく、個人個人の個性を生かせる環境を社会全体で整える事が必要だと思います。【30代男性】
9. 男性、女性は“こうあるべき”体質をなくしないと実現は難しいでしょう。家庭、子育ては女性が絶対的で、私も仕事を辞めました。その後の社会復帰も子育て中はなかなか難しく困っています。【30代女性】
10. 誰でも互いに尊重しあえる社会作りが一番だと思います。他人も尊重するが自分も尊重するし、される世の中。【40代男性】
11. 自治会集会時に特にお茶入れたり掃除したり等女性が主・・・根強く残っている。【40代女性】
12. 社会全体的には、女性の能力は高くなっている。(男女にかかわらず)女性のほうが真面目で、

---

仕事も丁寧にするように思う。

(一般的に)特に日田市は昔からの天領の街として栄えてきている地域がらか、男女差別や昔ながらの風習などが根付いている感があるように感じる。私自身は他市から結婚を期に日田市に住むようになって色々な場面でそれを感じる。地域全体の意識改革や支援活動が充実することが、女性ももっともっと輝ける日田市になっていくのではないのでしょうか。そのような日田市に早くなって欲しいと願っています。【40代女性】

---

13. 生まれ持った役割もあり、「男性だから」「女性だから」といった考えが不要か必要か難しい気がします。それぞれの人間としての優しさや、個性を大切に生きていける社会づくりが出来ると思います。【40代女性】
- 

14. 古くから住んでいる者、新しく住み始めた者が関係をとりやすい社会にまずはならないといけないかなと思います。【40代女性】
- 

15. 社会に男尊女卑の考えがまだ根付いている感があります。性別(男女)は関係なく、人間として平等であるべきだと思います。特に高齢の男性はその傾向があり、不愉快な思いをする時があります。女がして当たり前と言う考えは古いです。(家事・育児・その他) 【40代女性】
- 

16. 今、現在でも男女の格差はあると思う。例えば、生命保険にしても男子の方が掛金も高く、いずれ一家の大黒柱という概念だと思うが。また企業においても男性は正職員で雇用し女性は臨時職で・・・という所もたくさんある。女性はどうしても結婚・出産が弊害になるので男女平等で子育て・介護等できる社会体制を実現してほしい。【40代女性】
- 

17. 男女共同参画社会とは、仕事や役割を質的・量的に平等にすることではないと思います。固定的な性別役割分担も、ある程度必要だと考えます。性差で生まれる性別分野があることも理解し、そのために生まれるギャップをどのようにフォローしあうかを考えるのが、男女平等参画社会ではないかと考えます。【40代女性】
- 

18. 自分が長年住んでいる中で、どれほど日田市という街を好きな人がいるのでしょうか？共同参画の前にもっと生活に密着した暮らしやすい街になれば、おのずと共同参画者も増えていくのではないのでしょうか。仕事面においても企業や事業所が少なくいろんな形態での働き方が困難であって、他県にまで足を運んで就職についている人(女性)も少なくありません。これからの日田市に期待していますし、暮らしやすい街になれば積極的にいろんな活動に参加して行きたいと思っています。【50代女性】
- 

19. 子供を安心して預けられる施設と、介護施設の完全な設置です。能力のある若い女性は子育ての期間、保育施設がなければ、働くことができません。  
私は老母の介護のため、遠方から仕事を辞めて帰ってきましたが、生活は苦しいです。母が、自分の年金内で安心して暮らせる施設があれば本当にいいと思います。私も、仕事を辞めずに定年まで働きたかったです。しかし、こういった理由で働くことを断念するのは、ほとんどが女性であろうと思われます。なぜならば、女性の(主婦らの)仕事はほとんどパートなどでいつでも辞められる状態だからです。50才以上のパートの女性に男女共同参画などむなしい言葉かもしれません。次の世代のためにどうにかなってほしい。【50代女性】
- 

20. 今だに女は家政婦さんの扱いを受けている。家事、育児等家の中の仕事はしてあたりまえ。男が家事を手伝おうものなら、だらしない尻にしかれているなど思っている人たちが多いのも事実である。この人たちは頭が固いから、いくら言っても聞く耳を持たないし、言っても無駄である。【50代女性】
- 

21. 全てに男性と肩を並べるといってなく女性としての目線、女性らしい姿勢で社会の中で自立した活動のできる環境づくり。本当に理解のある人が、管理職・各審議会等で頑張してほしいです。【50代女性】
- 

22. 「男尊女卑」の考えは意外に女性の中に根強くあるように思われる。家庭において父親、男児を大切にすることは本人の自覚を促し、社会における立場を維持するのに役立つであろう。だがその余り、女性自身が女性の立場を貶める結果になることも多々ある。  
男性らしさ女性らしさは必要であるが、人間として社会として自己の置かれた立場を客観的に認識する意識を持つべきである。

「男女共同参画社会」の実現のためには、男性・女性の特性を活かした、バランス感覚の育成が

---

- 必要である。それにはまず周囲の出来事に興味を持つべきであろう。私には関係ない式の生き方では、意識も高揚しない。【50代女性】
23. 女性の個性と能力を活かし就労・育児・家庭と両立できるように、家族や社会全体の理解・協力が必要であり、女性が社会へ出る事により出生率は下がることも考えられます。出産後も変わりなく就労しやすい環境づくりも必要で、夫婦と子どもからなる核家族世帯は減るのではないのでしょうか。【50代女性】
24. 地域での決まり事など、昔ながらの継続で改善した方が良いと思っても、女性だからとか、昔から決まっている事だからと、上からおさえられる事が多いと思う。もっと若い人の意見も参考にしたいと思う事があります。でも、現実改善できにくい。【50代女性】
25. 女性の出産・育児に対するサポート体制を、更に充実させていくことが大切(産みやすい、育てやすい環境づくり)国の予算が軍事防衛費に片寄りすぎているので、生活者中心の国づくりに方向を変える事が必要と思う。国民の生活と暮らしをよくする、政治の在り方を望む。【60代男性】
26. 歳が上の人ほど「女のくせに」と何かにつけて思っている人が、田舎に行くときのように思います。まずこの考え方を変えなければいけないと思います。【60代男性】
27. 審議会等の女性登用率を35%以上に目指すのではなくて「女性が30%以下の審議会は成立しない」というような制度にすればいいと思う。市議会議員でも女性は必ず全体の3割以上にするとか。男性・女性とかの特性を必要としないものには、ある程度強制的な枠を設けた方が良い。【60代男性】
28. 人それぞれ運動・勉強・技術個性に能力が違うと思うので、本人の能力を一番発揮できるように掘り起こしてあげる。好きこそ物の上手なれといわれるように好き、上手を見い出してあげて、地域で活動(躍)して本人も生き生きと人生を送る。【60代男性】
29. むやみに男女平等ばかり主張しないほうがよい。男性は男性に適したことをやればよし。女性は女性に適したこと、女性しか出来ない事をやれば良い。適材適所の仕事を与えればよい。【60代男性】
30. 少子化が進行する時代に、女性が働かないで出産・育児など女性だけしか出来ないことをもっと考えるべきだと思う。【60代男性】
31. 審議会委員など女性の定数を設けること。市議会議員など女性の候補者が多くなるような環境づくり。【60代男性】
32. 男女共同参画という言葉は本当によく耳にします。私は地域公民館活動に多く参加しています。パートで仕事をやって家事・実母の世話などそういう事をやりながらの参加で家族は喜んで出してくれます。女性セミナー、婦人会活動、そして趣味の教室(大正琴)など地区の人達とは数人で小額ですが積立をやり旅行などにも行っています。これも、主人や子供の協力のおかげだと感謝しています。  
女性が出すすぎると今だに言っている方を耳にしたりしますが、決してそんなことはないと思います。仲間の方もそれぞれ楽しんでやっていますので、それぞれの家庭で協力し合っていると思います。何もやっていない家に閉じこもっている女性の方に言いたいです。楽しいですよ、みんなと色々な事をやれるのは・・・と。【60代女性】
33. 地域での女性の活動を増やしていく。【60代女性】
34. 企業トップに子育てや、介護に関する理解が必要と共に行政も保育園の充実や、子供の病気中の病児保育を徹底する。次に介護、たとえば母が徘徊した時に職場に連絡があり早退あるいは対応に追われ、退職せざるをえない。デイサービスは朝は遅いし、夕方は早いので役に立たない。入所も空きがない。介護のために退職となると給料の安い女性が辞める事になり、生まれてきた意味さえ分からなくなる。だから少子化になってしまう。赤字の行政に何か頼れるのだろうか。【60代女性】
35. 成人者でなく、中高校生等含めた協議会という固苦しいが、自由に参加できてテーマも、身の回りとか世間話などでスタートして回を重ねる事によって目的か目標を見つけて進めたら、何か生まれてくると思います。必ず何か生まれてくると信じています。【70歳以上男性】
36. 日田地方独特の封建的思考者が多く、なかなか女性の立場が理解されない。市全体でもっと

---

論議できる場を作ってもらい、底辺から全体への盛上がり、出来るよう取り計らって欲しい。

**【70歳以上女性】**

- 
37. 市内に女性の働く場所があったらもっと良いと思います。大きい会社です。今あるのは介護施設は多いと思う。男性の方も同じです。**【70歳以上女性】**
- 

#### ◆家庭に関すること

- 
1. 男性が子育て・介護がしやすい環境をつくってあげれば、女性ももっと社会にでてきやすくなると思います。**【20代男性】**
- 
2. 女性の家庭での負担を減らすことが解決策だと思う。就労時間の調整、社会全体の理解、環境づくりなど。**【20代男性】**
- 
3. 男性は仕事を第1に考えていても、妻がいれば家庭がまわっていくが、女性は結婚し子供に恵まれれば、多くの役割が生まれ、どれも無いがしろに出来ない。仕事を優先すれば、夫や子どもに対して申し訳なさを感じ、子どもの病気などで仕事を休めば、職場に申し訳なさを感じる。自分の時間もあまり取れない共働きの主婦にとっては、行政や政策について考えを深めるような余裕はなかなか生まれないのではないのでしょうか？**【30代女性】**
- 
4. これからの介護施設の充実、子供への安心感を与えることが出来やすくなること、大人になるための人間関係の協力、男女が安らぐことの出来る家庭作り、家族との話し合いの場を(時間)するなど。**【30代女性】**
- 
5. 子供にとって母親はやはり父親よりも親密なスキンシップが必要な時期があります。その時期に、十分に子育てに専念できた家庭でも、父親からのフォローがあり、時期が来れば仕事に復帰できることが理想ではあります。**【40代女性】**
- 
6. 女性の意識の改革が必要だと思います。その為には、夫(家庭)の支援が必要です。子供のころからの支援が必要です。子供を産むのは女性なので、子供を産んでも子育てもしてほしい、仕事も復帰できる環境が必要だと思います。**【50代男性】**
- 
7. 女性が主に職を考えるようになれば結婚しても子どもを持つ事や、父母の介護、また、出産しても子育てを委託して本来の愛情が薄れがちで、今の子どもたちが中学や高校でのいじめや異性関係などその他。また、老人の二人暮らし、一人暮らしと考えさせられる毎日。**【50代男性】**
- 
8. 今では子育ても台所もずいぶん男の人が手伝ってくれる時代になりましたよね。息子たちの世代(うちは29歳)ではかなり家事も子守りもしないとお嫁さんから嫌われてしまうだろう。私は、仕事も子育てもいっぱい頑張ったけど、同級生でバリバリ仕事している人よりも専業主婦の人の子どもの方が良い大学にいったような気がする。  
私は主人から大事にされているけど、やはり家の中でも男の人がえらいと思われている。(大正生まれの父も主人も男がえらいと思っている。)私は主人とめぐり合えて良かったし、今幸せです。学校では男女は平等なのだから、もっと社会は良くなると思う。**【50代女性】**
- 
9. まだ社会的にも家庭でも(男の自分にも)男は男、女は女の役割があるという考えがある。根本的にしょうがないのではないかと思う。男は現実的に子供は産めないのだから…。「男女共同参画社会」は少しずつでも押し進めるべきだがやはり最後はそれぞれの役割はあると思う。**【60代男性】**
- 
10. 男は仕事、女は家事、これは地方では当然としている。子供の頃からの男女平等が浸透出来れば変わるのかもしれない。**【60代男性】**
- 
11. 子どもを立派な社会人に育てるのに男女共同で考えてするのは当然だけど、女性の接する時間が最も大切だと思います。それが出来た上での女性の社会的時間となるのでその点多少不利なことはあると思います。**【60代男性】**
- 
12. 女性が家の外で活動しやすく、周りの理解が必要。少しでも仕事で遅くなると機嫌が悪い。家族が一番理解してほしい。**【60代女性】**
- 
13. 地域でも家庭でも高齢者はあまり口を出さない方がいいと言われる事が多いが、一緒に住んでいけば孫の事、家庭の事でも口を出さない訳はいかない場合が多いと思う。**【60代女性】**
-

## ◆職場に関すること

1. 育児の環境について以前よりは大部分女性の負担は減っている気がするが、男性がもっと育児に参加できるよう、職場において育児休暇も取りやすい環境づくりを進めていく必要があると思う。  
(上司が積極的に休暇を取る等休暇を取得しやすい環境づくり)【20代男性】
2. 正社員でも産休・育休がとれない職場が多いと感じます。女性が妊娠・出産・育児中でも、働きやすい職場が増えると良いと思います。  
子供の行事で仕事の休みをとる時に女性はとりやすいですが、男性はとりにくい(上司が快く許可してくれない)ことがあるようです。特に30代以降の男性、40代以降の女性が男女平等の意識が薄いように感じます。仕事に限らず家庭での話を聞いてもそのように感じました。【20代女性】
3. 男性と女性は体の仕組みが違い、思考や社会的役割も違うところがあるので、全く平等に生きるというのは無理だと思う。また、産休・育休などの問題もある。現在少しずつ女性の管理職や男性ばかりの職場での登用も行われてきているが、職場の影響の負担が少ないような(妊娠・子育て)社会環境、職場環境の整備が必要と思う。【30代男性】
4. 女性より男性のほうが職場ではやはり地位が高い、というのが現状であると思う。どうしても女性は家事(子育て)をこなさなくてはならないのだから、職場(会社)で働くなら、男性より女性の方が有給休暇や所得税・住民税の減免等は優遇されるべきである。【30代男性】
5. 女性はどうしても子育てがあるので会社側からすれば仕事を任せる事は出来ません。子育て支援の強化が大切だと思います。【30代女性】
6. 男性の育児、介護休暇取得の普及。【40代男性】
7. 介護分野、一般企業の賃金アップする事により、その分野で働く一人一人のモチベーションをアップすることが必要。【40代男性】
8. 実現しつつあると思います。文化的なものなので、急に変わるものではありません。少しずつ事でやっていくしかないでしょう。【40代男性】
9. 今の40才くらいから下の人々は平等ではないか。【40代男性】
10. あまり男女共同参画社会を考えると、少子化は間逃れない様な気がします。【40代男性】
11. 男性に比べれば女性は弱い生き物です。そこを守る制度や環境がないと対等に接することは出来ないと思います。【40代男性】
12. 男女共同というところに意識があるうちは、どうかかなと思います。私の周りでは共同となっているような…?逆に女性のほうが強くなっているような気もします。【40代男性】
13. 女性の就業支援の向上、能力向上のために内容の充実。  
男女が共に働きやすい環境、子育て、介護、役割分担等の充実。頭の中では男女平等と分かっているけど、まだまだ男性上位を優先する自分が悔しいです。【50代女性】
14. 労働時間(残業を含む)の短縮をさらにすすめる。【60代男性】
15. 職場等において朝茶を出すとか、お片づけをするとか会議等において女性の参加がないなど特に中小企業においては改善する必要があるのではないかと思います。【70歳以上男性】

## ◆教育・学習の場に関すること

1. 男性と女性では、考え方も意識も違ってくると思います。また、育ってきた土地柄によっても考え方が、すごく違っていたりもします。男性と女性、それぞれが平等に意見を言える「男女共同参画社会」はとても重要だと思います。DVについても、男性の方が女性より上だと思っているから起こる現実だと思います。女性だけでなく男性も意識改革をすることが必要だと思います。【30代女性】
2. 各企業で、男性と女性がともに同じ立場に立つ事の理解についての知識も持ってもらうために、勉強会など積極的に行ってほしい。自由参加の勉強会では、興味のある人や、その活動に携わる人達だけが集まり、本当に理解が必要な人たちにまで届かない。

---

家庭・育児の男性の参加協力も、共働きの社会の中で必要なことを知ってほしい。夫婦で話しても真剣には考えてくれないので、倒れるまでやるしかない毎日思いながら労働と家庭と育児を行っています。【30代女性】

---

3. これからの社会男女平等であるべきだが、自身の考えが古いので、やはり男の方が上という考えがある。子供の頃から平等を教えこむ。今の子供は、ほとんど平等になっていったのでは？

【40代女性】

4. やはり、男性の意識改革が必要だと思います。女性も能力を持った方もたくさんいると思いますが、どうにも結婚・出産でキャリアを一度捨てなければならぬと言う現実も多いと思います。結婚・出産後もまた職場復帰できるような企業が増えればいいなと思います。そのためにも保育園や託児所などが充実していないと厳しいのではないのでしょうか。(介護面も)【40代女性】

5. 男には男にしか出来ないこと、女には、女にしか出来ないことなど職業でもそれぞれ役割はあるので、全てにおいて各々個人の倫理感にあると思います。その倫理感を子供のころから考える機会を多く持ってもらいたい。

介護にしても子育てにしても家庭にしても女性が主になってくるのは自然なこと(母性があるから)※男性がしなければならぬ家庭もあると思いますが。たとえどちらかに片寄っても理解し感謝の気持ちを伝えることが大切。地域の事にしてもそうだと思います。【40代女性】

6. 男女共同参画社会実現の為の意識改革【50代男性】

7. 男女共同参画の実現に向けては、一人一人の意識改革が一番大切なことであり、意識を変えなければ男女共同参画は実現しないと思います。【50代女性】

8. 家庭・地域・学校で、意識改革を行うことが必要だと思いますが、具体的に何を行うのかの施策が大事だと思います。日田市の取り組みを知らせることも大事だと思います。【50代女性】

9. 小さいころから学校教育で慣れさせていくのが一番だと思います。【50代女性】

10. 支援より、本人の学習が大切だと思う。【60代男性】

11. 男性の意識改革も大事ですが、女性がもっと変えようと積極的にアプローチすることが、必要だと思います。そのためにも行政主導の働きかけ(公民館や集会場等での話し合いや広報活動など)を望みます。【60代男性】

12. 今からは子供のころからの意識が必要だと思いますが、男性でしか出来ない事や、女性じゃないと出来ない事がありますが、その向きに応じた物の考え方などの小さいときから教えていくことが、自然な形で変わって行くのではないかと少しずつ、すぐと言うのは無理で難しいと思います。【60代女性】

13. 子どもの頃からの平等教育が最も大切と考えます。企業や社会全体が将来を担う子どもを育てやすい環境を作ってくれることが大事だと思います。【60代女性】

14. 子どもの頃からの平等意識・教育が大切だと思う。【60代女性】

15. 男女共同参画に対する意識改革の促進。【60代女性】

16. 一般的にこの制度が知られていない様な気がします。【70歳以上男性】

17. 「男女共同参画社会」を実現する為には、地域の集合等の折、一番感じますが、意識改革は特に男性、年配の方にまず行わないと進んでいかないのでないでしょうか。【70歳以上男性】

18. 女性だからと、たのまれた役職を辞退する女性。引受けてがんばる女性、それを妬む男性がいる。意識改革の促進こそ大切であると思います。【70歳以上男性】

19. 男女平等の原点に立ち戻って、思考を進めること。女性リーダーの養成に向けて男性側より全面的なサポートが大切である。今も男子優勢の習慣が残っているところがあると聞く。こうした件を中心に改良していく必要あると思います。【70歳以上男性】

20. 男性の男女共同参画に対する意識改革の促進が必要であり、女性能力向上の為の成育(女性リーダー育成同様と思う。)(【70歳以上男性】

21. 昔と違って、校長先生や職場でも女性の方が上位なって居る時代ですから、小さいときから男女共に何につけても一緒に勉強することが良いと思います。【70歳以上女性】

22. 子どもの頃からの男女平等教育の推進が必要と思う。【70歳以上女性】
-

## ◆その他

1. 上下関係は存在しない、男女の役割分担が必要ではないかと思う。【20代男性】
2. 女性が家庭を守る古き良き時代に戻ることも必要だと思います。疲れている女性が周りに多い。大変な取り組みだと思いますが、今回のアンケートではじめて知りました。認知度を上げることも必要ではないでしょうか。【30代男性】
3. それぞれの能力や個性を發揮できるのなら男女の割合に特にこだわる必要はないと思います。数字にこだわりすぎると逆に参画が進まないのでは？(やりたくない人が強制的に何かの委員になり逆に離れてしまう等)【30代女性】
4. 職場では、差別なく平等に働くことが出来るが、仕事のキャリアを積むためには、女性の場合、独身でいる方が、能力を發揮できると思う。結婚すると子供のことに時間を取られることも多いからである。  
そのかわり女性のほうが、子供を理由に仕事を休めたりと男性より仕事の融通がきく様に感じる。仕事ではどちらがよいかは分からない。地域、学校では、PTA 会長や役員は男性の方が、うまくまとめることが出来ると思うが、係や活動などは女性の方が出る仕事が多く、女性のほうが、社会のつながりが多くて大変だと思います。  
男女の個性が發揮できること、平等とは違うと言うのをふまえて、お互い得意な事が生かされれば良いと思う。同じように活動するのは負担を感じるが多くなると思う。【30代女性】
5. 性別による差ではなく、個人による差である為、真に能力ある人間を選ぶべき。わざわざ「男女～」とか掲げる時点でおかしい。【40代男性】
6. アンケートだけに終わらず、実現に向けて取り組んで欲しい。【40代女性】
7. 私の偏見かもしれませんが、女性のほうが我慢強い、でもあきやすい。女性には、守って欲しいという弱い部分もあります。もし、平等を目指すならば、女性をリーダーとして育て上げるしかないと思います。(女性にがんばる!!活躍できるチャンスをください。)  
平等にこだわらず、やりたい人が頑張れば、その人の個性が生かされてよいと思います。例えば男女平等で、男10人女10人で20人の議員さんがいても、その数にこだわれば有望な人材が、議員さんから外れるかもしれません。  
多分、大事なことは“数”とか“%”ではなくて、やりたいという熱意のある人が国や自治会を動かしていけばよくて周囲の体裁や見栄でリーダーにならなくても、平等を目指さなくても良いのではないかと思います。その人の役割というものがあるって、それを全うしていけば、うまくやれそうな気がします。【40代女性】
8. 女性の方から、「男が、男の方が」という声をよく聞く。男の方も事務局が女性だったりすると、仕事は出来るのに、可愛げを求めたりする。日本語には、男言葉や女言葉があるし、能力(出産など)が違うので平等を求めるより、それぞれの能力を發揮し、自己肯定できる教育、違って当たり前前の教育が必要かも。【50代男性】
9. 老若男女別なく、良いもの正しいものを認める事。それぞれ個人の得意なものを認め、まかせられる社会、理論的、科学的根拠にもとづいて判断する事。【50代男性】
10. 男女共同参画社会は理想のような気がします。男女が平等な社会はとても素晴らしい事だと思いますが、何でもがそうなるとは思えません。それぞれの得意分野があると思います。脳の仕組みから、男と女は違うと聞いた事があります。子育てや家事に協力してくれる夫はたのもしいと思いますが、抵抗があるのも実感です。【50代女性】
11. チャンスは平等に、あとは出来る事をやる。無理やり数を平等にすることは無いと思う。【50代女性】
12. 日田は物価に対して男性の収入が低い為、個性や能力の發揮の前に、女性が何らかの仕事をして働かないと生活できないという方が多いと思います。【50代女性】
13. すべての事を一緒にやっていければいいのですが、なかなか男女の差別は根強いところがあると思います。小さな集まりの中で、お互いの趣味・性格などを分かり合いながら次のステップにとやっていければ、全体に広がっていきえると思います。ただ、女性が上の役職になることは、いい方法ですが、自分の好き嫌いや、感情的になる所があるという性格もありますが、適材

---

適所を考え上に立つてもらえれば、男性もまた違った見方が出来、お互いを認め合える関係になっていくと思います。まずは、大きな全体ではなく、小さな集まりから意識を変えていくことが大事と思っています。一人ひとりの意識が変わればやがて全体に男女の立場、考えが変わっていくのではないのでしょうか。深く考えようとまく伝えることが出来ませんが、そんな社会になることを願っています。【50代女性】

---

14. 家庭は私たちが生活する場の基ですが、それを大切にするために家事は父や主人に迷惑を掛けないように自分でしっかりしていると自然と洗濯物を取り込んでくれたり、畑から野菜を取って来て洗って来ていたり忙しいことをちゃんと見てくれています。家庭も職場も相手を思いやれば男女平等など考えなくてもいいような気がします。【50代女性】
- 

15. 男女の生まれつきの身体的・生理的な違いがあるので難しい問題です。【50代女性】
- 

16. まだまだ意識が足りないし、現実には難しい。理屈は分かるが女性の方が感情的になる部分が多いと思う。女性の意見を聞く「耳」だけは持たねばならないし、聞く事、その中から男が代弁していくことも大切だと思う。【60代男性】
- 

17. 夫婦ともに健康でなければ、どちらかに負担がかかり共同参画できない。【60代男性】
- 

18. 男性・女性共平等な社会を実現するのが理想です。家庭・地域・風土・習慣の異なる社会です。互いに支えあう気持ち大切です。個人的私も他の地方より日田へ住みついて約半世紀ですが、人情味あふれる日田市だと思います。支えあうことを大事にして行政も市民を支えてください。【60代男性】
- 

19. 女性差別など言い過ぎでは、反対に男性差別に思うことは最近多い。【60代男性】
- 

20. 人としての基本的人権とか平等性とかから見れば確かに「男女共に」「男女平等」は達成されていない。しかし、女性には女性ホルモンが働き母性があり、母乳が出てくる。男性は男性ホルモンが働き、筋肉が有り、ひげが出てくる。女性がこうした自然体のまま、自然体の社会の中で自然な喜びに満ちた活躍が出来る様になれば良いと思う。【60代男性】
- 

21. 年々、男性の考え方が男女共同参画という実現に向かっていると思うが、お互いが自分々と言う主張をするのではなく、共に助け合いながら生活するのがよいのではないのでしょうか。【60代男性】
- 

22. 仕事と人関性等で、素晴らしい人は、性別に関係ありません。【60代男性】
- 

23. 男だから、女だからではなく(気づいた方、出来る人がする)様な思いで、いけば良いのでは。【60代女性】
- 

24. 男女共同参画社会と言っても男性でなければ出来ないこと、反対に女性でなければということとは根本的に変わらないと思います。【60代女性】
- 

25. 女性が差別されている前提だが、今は女性の力が圧倒的だ。市役所でも女性職員の方が元気で、闊歩している。家庭でも女性(娘)に実効支配されている。特に老年になると女性の世界である。女性の職場での云々という話は、そんな企業は市内にはない(公務員を除いて)。それは大都会の話である。【70歳以上男性】
- 

26. 男女均一の充実、老若男女の知恵の出し合い、による社会づくりによる日田市の発展が話題になるのではないかと考えます。【70歳以上男性】
- 

27. 現在、共同参画とかそうでないとか考えることがわからない。男女は平等である又は家庭生活では女性優位であると考えます。男は女性の出来ないことを手伝いすると思えばいい。私は父母と早く死に別れし父(2歳)母(12歳のとき)結果、祖父母の世話になりました。祖父母は出来る限り自分で何事も行うようにと指導されました。私も自分の子ども(男2、女2)にそのように教え育てました。男女として区分した思いはありません。だから不足するものを助け合えばそれでよいと思います。男女の意識は結婚、又は恋のときだけでいいと思います。出来ることを出来る人がする。【70歳以上男性】
- 

28. 昔から男性優位の立場が根強くあり、考え方は男性の方がすぐれていると思われます。【70歳以上男性】
- 

29. 能力ある女性をドンドン活用すべきである。女性自からの意識改革も必要。【70歳以上男性】
- 

30. 体力面ではどうしても男性のほうが勝っているが、そういうことではなく女性には女性の男性には
-

---

男性の良さがある。そのことを社会全体が認めるようにする。【70歳以上男性】

---

31. 女性の積極性の向上が必要。【70歳以上男性】

---

32. 現在の若い人は女性に優しい心遣いをしている男性が多くなっています。【70歳以上女性】

---

33. 大変よいことですが、むつかしい。【70歳以上女性】

---

34. 女性が、個性と能力を発揮できる場とはどのような場所ですか？男も女も適在適所の中でその能力を発揮できればよい。無理に「共同参画社会」を作る必要は本当に意味があるのですか？私は男女平等だとは思いません。男女の機会は平等ですが、男がしなければならないこと、女しかできないことそれぞれを大切に考えて行けば良いと思います。【70歳以上女性】

---

35. 私はもう老人だから社会実現はできないけどなるだけのことは出来るだけしたいと思います。【70歳以上女性】

---

# 男女共同参画に関する 市民意識調査

平成26年度

このアンケート調査は、日田市内に住む20歳以上の男女の中から無作為に抽出した1,700名の方々にお願いしております。趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

また、本アンケート調査でご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、あなた様のお名前や情報が外部に公表されたり、商品・サービスの販売・勧誘などでご迷惑をおかけすることは一切ございません。

《ご記入にあたって》

1. ご記入は、鉛筆、ボールペン(黒又は青)などをお願いします
2. 調査票並びに返信用封筒にあなたの住所、氏名の記入は不要です
3. 調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**5月30日(金)まで**にご投函ください  
切手は必要ありません
4. ご質問や不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください

(問合せ先)日田市 市民環境部 市民活動推進課  
活動支援・男女共同参画推進係  
電話:0973-22-7515(直通)



## 男女の意識についておたずねします

問6 「男は仕事、女は家庭」と性別によって役割を固定する考え方がありますが、あなたはそれについてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選び○印をつけてください。

1. 賛成    2. 反対    3. どちらともいえない    4. わからない

問7 あなたは、次の分野において男女平等がどの程度、実現されていると思いますか。a～fのそれぞれについて、あなたの考えに最も近い番号を1つだけ選び○印をつけてください。

項 目	家庭生活	職 場	地 域	学 校 教 育	政治の場	法律や制度の上	社会通念・ 慣習・しきたり	社会全体
a. 男性が優遇されている	1	2	3	4	5	6	7	8
b. どちらかといえば男性が優遇されている	1	2	3	4	5	6	7	8
c. 平等である	1	2	3	4	5	6	7	8
d. どちらかといえば女性が優遇されている	1	2	3	4	5	6	7	8
e. 女性が優遇されている	1	2	3	4	5	6	7	8
f. わからない	1	2	3	4	5	6	7	8

## 家庭生活についておたずねします

問8 結婚している方（事実婚を含む）におたずねします。

あなたの家庭では、次の役割を主に誰がしていますか。a～iのそれぞれについて、あなたの家庭にあてはまる番号を1つだけ選び○印をつけてください。

項目	主に夫または父	主に妻または母	夫婦（父母）で共同	その他の家族
a. 家計の管理	1	2	3	4
b. 食料品などの買い物	1	2	3	4
c. 食事のしたく	1	2	3	4
d. 食後の片付け	1	2	3	4
e. 掃除・洗濯	1	2	3	4
f. 育児・子どものしつけ	1	2	3	4
g. PTAへの出席	1	2	3	4
h. 町内行事等への参加	1	2	3	4
i. 高齢者の世話・介護	1	2	3	4

問9 男性と女性が共に家事・育児・介護・地域活動等に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを2つまで選び○印をつけてください。

1. 子どもの頃からの家庭教育
2. 学校における男女平等教育
3. 男性が家事等に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす取組み
4. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
5. 職場での労働時間短縮や育児・介護休暇等を取りやすくする環境づくり
6. 性別役割分担意識や慣習などを改める社会啓発
7. その他（具体的に

)

## 仕事についておたずねします

問10 現在、あなたは就業して働いていますか？

あてはまるものを1つだけ選び○印をつけてください。

1. 働いている
2. 働いていない

問11 「問10」で1とお答えした方におたずねします。

あなたと仕事の関係は次のどれですか。あてはまるものを1つだけ選び○印をつけてください。

1. 学校を卒業して以降、ずっと働いている
2. 就業していたが、結婚・出産・育児のため一時やめ、再び働いている
3. 就業していたが、その他の事情で一時やめ、再び働いている

問12 「問10」で1とお答えした方におたずねします。

あなたの職場では、女性は男性に比べ、仕事の内容や待遇面で差別されていると思いますか。あてはまるものを1つだけ選び○印をつけてください。

1. 差別されていると思う
2. 差別されていないと思う
3. わからない

問13 「問12」で1とお答えになった方におたずねします。

それは具体的にどのようなことですか。あてはまるものを2つまで選び○印をつけてください。

1. 賃金に格差がある
2. 昇進・昇格に差別がある
3. 能力を正當に評価しない
4. 補助的な仕事しかやらせてもらえない
5. 幹部職員に登用しない
6. 結婚や出産をすると勤めることが続けにくい雰囲気がある
7. 定年まで勤めることが続けにくい雰囲気がある
8. 研修・訓練を受ける機会が少ない
9. その他（具体的に )

問14 「問10」で2とお答えした方におたずねします。

あなたと仕事の関係は次のどれですか。あてはまるものを1つだけ選び○印をつけてください。

1. 定年退職した
2. 就業していたが、結婚・出産・育児のためやめた
3. 就業していたが、その他の事情でやめた
4. 学校を卒業して以降、ずっと主婦（主夫）・家事手伝いをしている
5. これまで働いたことはない（学校をまだ卒業していない）

問15 仕事と家庭生活両立のために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選び○印をつけてください。

1. 男女が共に家事・育児・介護などの家庭生活を協力しあう
2. 育児や介護のための支援施設やサービスの充実
3. 男女が共に育児・介護休暇を取りやすい環境づくり
4. 週休二日制や労働時間の短縮など、多様で柔軟な働き方を推進する
5. その他（具体的に )

問16 女性が生涯にわたり仕事を続けるためには、どのような支援や改善が必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを3つまで選び○印をつけてください。

1. 夫や家族の協力
2. 女性が働くことを妨げている社会全般の意識・慣習の改革
3. 保育・介護・家事の支援施設やサービスの充実
4. 労働条件の改善（昇進・昇格など待遇格差解消など）
5. 企業などにおける育児・介護休暇制度などの充実
6. 多様な雇用形態（在宅勤務、時間短縮労働など）
7. 就職（再就職）に関する情報の提供・制度の充実
8. 就職（再就職）のための技能研修などの充実
9. その他（具体的に )

問17 農林漁業・サービス業等の自営業に従事されている方におたずねします。事業経営の方針などは誰が決定していますか。あてはまるものを1つだけ選び○印をつけてください。

1. 主に夫または父
2. 主に妻または母
3. 夫婦（父母）で話し合い
4. その他

問18 あなたは、男性が育児・介護休暇を取ることに、どのように考えますか。あてはまるものを1つだけ選び○印をつけてください。

1. 男性が育児・介護休暇を取ることに賛成
2. 男性が育児・介護休暇を取る必要はない
3. わからない

問19 あなたは、男性が育児・介護休暇を取りづらい理由は何だと思いますか。あてはまるものを2つまで選び○印をつけてください。

1. 仕事が忙しい
2. 取ると経済的に困る
3. 取ると仕事上周りの人に迷惑がかかる
4. 取ると人事評価や昇給などに悪い影響がある
5. 過去に取った男性がいない（前例がない）
6. 職場に取りやすい雰囲気がない
7. 男性が取ることに、社会全体の認識が十分でない
8. その他（具体的に )

## 地域活動についておたずねします

問20 あなたは、女性が地域の集まりや作業の中で、男性と共に参加しにくい、あるいは男性と同じようには発言しにくいという雰囲気や状況があると思いますか。あてはまるものを1つだけ選び○印をつけてください。

1. できにくい雰囲気や状況があると思う
2. そういうことはないと思う
3. わからない

問21 「問20」で1とお答えした方におたずねします。  
それはどんな雰囲気や状況だと思いますか。あてはまるものを2つまで選び○印をつけてください。

1. 男性が主となって催し物の企画や役員などを決定する
2. 男性が中心になっている活動と女性が中心になっている活動に分かれている
3. 集会で女性だけがお茶出し・調理をするなど、役割分担がある
4. 地域の活動で女性が発言することは、出しゃばりと思われがちである
5. 地域活動に自由に参加できるような家族の理解や協力が無い
6. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )



## ドメスティック・バイオレンス（DV）についておたずねします

※DV とは、「配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力」という意味です。

問22 あなたは、この1年間に、配偶者や恋人など親しい関係にある人との間で、次のようなことをしたり、されたりしたことがありますか。a～jのそれぞれについて、あてはまる番号を1つだけ選び○印をつけてください。

項目		したことがある	されたことがある	ない
身体的暴力	a. 殴る、蹴る、たたく、突き飛ばす	1	2	3
	b. 命の危険を伴う暴力	1	2	3
精神的暴力	c. 大声でどなって威嚇（いかく）する	1	2	3
	d. 家具や食器などを投げたり壊したりしておどす	1	2	3
	e. 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
	f. 交友関係や電話・外出・メール等を細かく監視する	1	2	3
経済的暴力	g. 生活費等の必要なお金をわたさない	1	2	3
	h. お金の使い道を細かく監視・制限する	1	2	3
性的暴力	i. 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3
	j. 嫌がるのに性的な行為を強要する	1	2	3

問23 「問22」で1つでも「されたことがある」とお答えした方におたずねします。誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 家族に相談した
2. 友人、知人に相談した
3. 民生委員、自治会長、人権擁護委員などに相談した
4. 警察に連絡・相談した
5. 婦人相談所（配偶者暴力相談センター）やその他の公的な機関に相談した
6. 弁護士に相談した
7. 相談しなかった、できなかった（理由は \_\_\_\_\_ ）

## 政策決定の場への女性の参画についておたずねします

問24 本市では、平成27年度までに審議会等の女性登用率35%を目指していますが、平成25年4月1日現在は28.1%という状況です。このことをあなたはごどう思いますか。あてはまるものを1つだけ選び○印をつけてください。

- 審議会等へ参画するのは … 1. 男性が多い方がよい 2. 女性が多い方がよい  
3. 男女半々がよい 4. わからない

問25 あなたは、審議会等に女性委員が少ない理由は何だと思えますか。あてはまるものを2つまで選び○印をつけてください。

1. 男性優位の社会の仕組みや制度がある
2. 男性になる方がよい（なるものだ）という社会通念がある
3. 会議や決め事に女性が関わる機会が少なく慣れていない
4. 行政に関心のある女性が少ない
5. 登用に対して女性の認識や理解が足りない
6. 家族の理解・協力が得られない
7. 社会・経済団体の代表者に女性が少ない
8. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )



## 男女共同参画の実現に向けておたずねします

問26 あなたは、男女共同参画社会の実現のために、今後どのような取組みが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選び○印をつけてください。

1. 男性の男女共同参画に対する意識改革の促進
2. 女性の能力向上のための学習・研修の充実（女性リーダーの育成）
3. 女性の就業支援のための情報提供や職業訓練
4. 女性に対する暴力の根絶と被害者に対する救済対策
5. 男女が共に家庭や地域で活動しやすい環境づくり
6. 男女が共に仕事と子育て・介護などを両立できる支援
7. 男女が共に働きやすい就労環境づくり
8. 子どもの頃からの男女平等教育の推進
9. 固定的な性別役割分担意識を解消するための学習・研修の充実
10. 企業や行政機関などの役職や管理職、各審議会委員などに女性の登用を促進
11. その他（具体的に ）

問27 男性と女性が、職場・学校・地域・家庭で、それぞれの個性と能力を發揮できる「男女共同参画社会」を実現するために、ご意見がありましたらご記入ください。

【回答欄】

以上で調査を終了いたします。ご協力ありがとうございました。